



令和元年度 事務所概要



（表紙の写真）

左 上：只見川 河川整備事業 起工式

右 上：国道401号 博士峠工区 着工式

左中央：ドローンで空撮した写真「会津レクリエーション公園」

右中央：平成30年度除雪機械始動式

左 下：第5回現場フォトコンテスト 最優秀賞「期待の女性新入社員」

右 下：道普請（美女峠・三島町側）

会津若松建設事務所スタンダード（行動規準） ～県民の皆さまへの約束～

- ①私たちは、笑顔で挨拶、
さわやかな対応をします。
- ②私たちは、丁寧で分かりやすい説明、
積極的な広報をします。
- ③私たちは、苦情・要望には感謝の気持ちで
現場面談、迅速に対応します。
- ④私たちは、原理・原則を遵守し、日々の
研鑽に努め、適正な事務執行の徹底を図ります。
- ⑤私たちは、報告・連絡・相談を徹底し、情報を
共有した風通しのよい職場づくりに努めます。
- ⑥私たちは、会津の歴史・風土への理解を深め、
地域活動に積極的に参加します。

目 次

●管内の概要	
1.管内の概況	7
2.人 口	8
3.就 業 者	9
4.製造品出荷額	10
5.観 光 客	11
6.気象（最大積雪深）	12
●施設の管理	
1.管内の現況	13
(1)管内道路の整備状況	
(2)管内河川現況	
(3)管内砂防の状況	
(4)都市計画区域指定一覧	
2.道路の維持管理	14
3.水位・雨量観測所、水防倉庫、ライブカメラ位置図	15～16
4.会津レクリエーション公園	17
5.東山ダム	18
6.道の駅	19～20
7.異常気象時の事務所体制	21
8.民間団体との連携	22
●事業概要	
1.予算	23
2.基本方針	24
3.平成30年度完了の主な事業	
①只見川筋 土倉工区（金山町）	25
②県道柳津昭和線 大成沢工区（柳津町）	26
③県道柳津昭和線 小野川工区 防雪柵（柳津町）	27
4.実現に向けて(令和元年度主要事業)	
(1)地域の安全・安心な生活を支える基盤づくり	
①会津地域の「命を守る道路」を確保します。	
【会津若松市】	
・国道118号 門田2工区 歩道整備	28
【会津坂下町】	
・県道喜多方会津坂下線 緑町工区 交差点改良	29

【湯川村】	
・(一)浜崎高野会津若松線 浜崎工区 道路改良	30
・熊ノ目浜崎線 熊ノ目工区 歩道整備	31
【柳津町】	
・(主)会津若松三島線 久保田工区 道路改良	32
・国道252号 細八工区 改良舗装工	33
【三島町】	
・(主)会津若松三島線 大谷工区 道路改良	34
・(一)滝谷桧原線 桧原バイパス	35
【金山町】	
・町道中川大栗山線 中川工区 道路改良	36
【会津美里町】	
・(一)大内会津高田線 宮瀬橋 道路改良	37
②自然災害へ備えるため、計画的な	
河川改修や砂防施設を整備します。	
□河川事業	
・只見川 各地区(各町の取り組み)	38
【会津坂下町、柳津町、三島町、金山町】	
・只見川 築堤、宅地嵩上、河道掘削	39
【会津若松市、湯川村】	
・湯川 開削工	40
・旧湯川支川湊川 河道掘削	41
【会津若松市、会津美里町】	
・藤川 築堤・護岸工	42
□砂防事業	
・土砂災害防止法	43
【会津若松市】	
・西田面沢 砂防えん堤	44
・院内沢 砂防えん堤	45
・慶山沢 砂防えん堤	46
・香塩地区 急傾斜地防止施設	47
【会津坂下町】	
・坊が沢 砂防えん堤	48
【昭和村】	
・木置沢 砂防えん堤	49
・御伊勢ノ宮沢 溪流保全工	50
・川向地区 急傾斜地防止施設	51
【会津美里町】	
・天沼沢外 砂防えん堤	52

③公共土木施設等を適正に維持管理し、 生活の安全・安心を守ります。	
・冬期交通の確保・除雪体制の充実……………	53
・道路パトロール・道路維持補修による維持管理……………	53
・中山間地域道路等維持補修業務委託……………	54～55
□舗装補修	
【会津若松市】	
・熊の目浜崎線……………	56
【柳津町】	
・国道118号……………	56
【三島町】	
・国道252号 持寄工区……………	56
□橋梁補修	
【会津若松市】	
・会津若松三島線 蟹川橋……………	57
【金山町】	
・国道252号 越川橋……………	57
□消雪施設更新	
【会津坂下町】	
・会津坂下会津高田線 本町工区……………	58
【金山町】	
・国道252号 川口工区……………	58
□住みながら内部改善	
【会津若松市】	
・県営住宅改善工事（対馬館団地） 内部改善……………	59
(2)地域の産業振興を支援し、様々な 交流を促進するみちづくり	
【会津若松市】	
・国道118号 若松西バイパス 道路改良……………	60
・(主)会津若松三島線 阿賀川新橋梁 道路改良……………	61
・会津縦貫北道路 若松北バイパス 自動車専用道路……………	62
・会津縦貫南道路 2工区 自動車専用道路……………	63
・都市計画道路藤室鍛冶屋敷線 新横町工区 道路改良……………	64
・会津若松熱塩温泉自転車道線 自転車道整備……………	65

(3)豊かな自然や美しい風景、歴史・文化など
地域の特性を活かしたおもてなしのまち(地域)づくり

【会津若松市】

- ・国道252号 七日町工区 電線共同溝、無散水消雪・・・66

【会津坂下町、柳津町、昭和村】

- ・歩く県道 束松峠、銀山街道(銀山峠、美女峠、吉尾峠)・・・67

【会津美里町】

- ・(一)会津高田会津本郷線 宮林工区・・・・・・・68

【金山町】

- ・前ノ沢 ヒメマス産卵環境整備・・・・・・・69
- ・ビューポイント整備・・・・・・・70

(4)会津地方の「復興」と「地方創生」

【金山町】

- ・国道252号 本名バイパス 道路改良・・・・・・・71
- ・国道252号 水沼工区 道路改良・・・・・・・72

【昭和村】

- ・国道400号 舟鼻工区 道路改良・・・・・・・73
- ・国道401号 大芦工区 道路改良・・・・・・・74

【昭和村・会津美里町】

- ・国道401号 博士峠 道路改良・・・・・・・75

5.会津から元気を発信します

- ・ホームページ・Facebook・奥会津シンフォニーロード・・・・・・・76

6.建設業の魅力向上に向けた取り組み

- ・Change! どぼく実行委員会・・・・・・・77
- ・会津＊美Lady・・・・・・・78

●事務所のご案内

- 1.組織体制・・・・・・・79
- 2.仕事の内容・・・・・・・80

●案内図・・・・・・・81～82

管内の概要

1. 管内の概況

当管内は、会津方部の玄関口として福島県の西部中央に位置し、1市5町2村（会津若松市、河沼郡（会津坂下町、湯川村、柳津町）、大沼郡（三島町、金山町、昭和村、会津美里町））からなります。

面積は1,538km²（県土面積の11%）、人口は167,318人（県人口の9.0%）となっており、経年的にはやや減少傾向が見られます。また、年少人口（15歳未満）及び老年人口（65歳以上）の割合によると、管内西部の町村において特に少子高齢化が進んでいます。



圓蔵寺周辺の桜（柳津町）



阿賀川（湯川村）



恵隆寺のイチョウ
（会津坂下町）



からむし織りの雪ざらし
（昭和村）



石部桜（会津若松市）

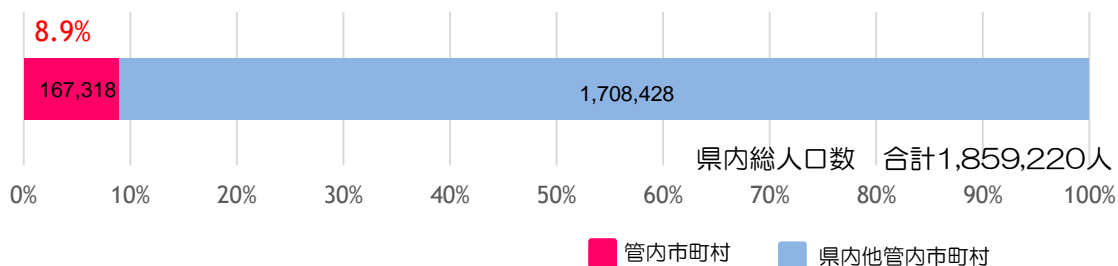


	年少人口 割合	県内 順位	老年人口 割合	県内 順位
会津若松市	12.0%	17		40
	10.9%	28		25
	13.9%	3		29
柳津町	10.2%	38		6
三島町	7.1%	48		3
金山町	4.7%	52		1
昭和村	5.4%	50		2
会津美里町	10.7%	30		13

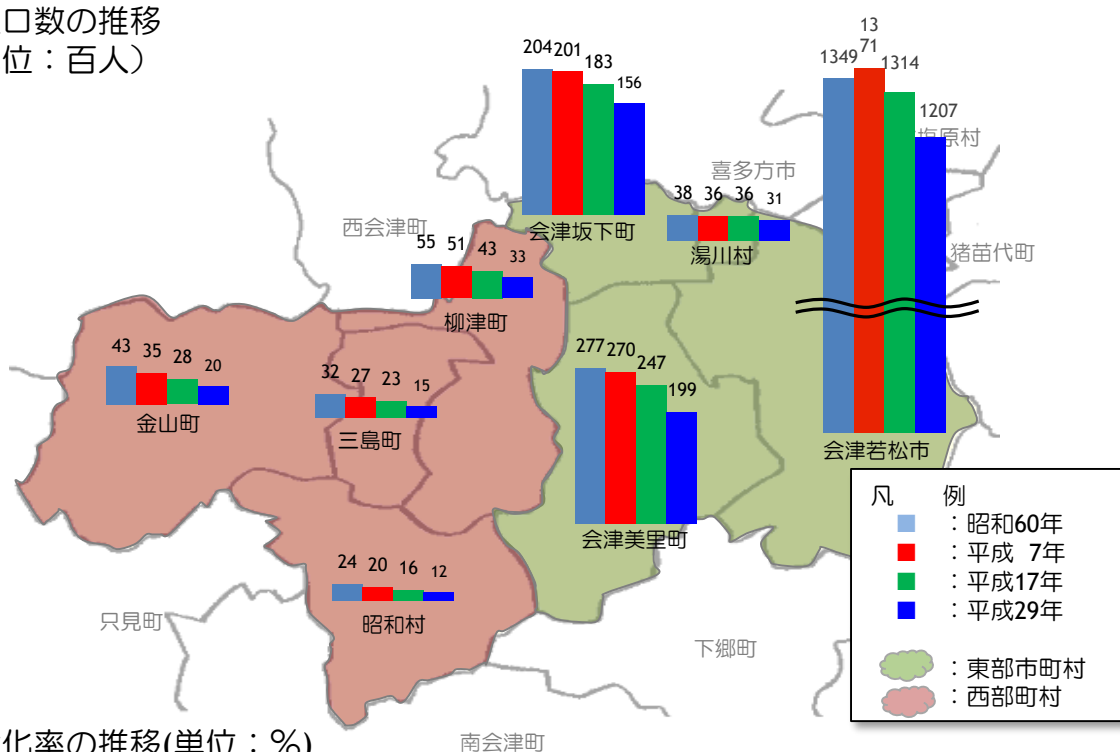
〈資料〉福島県統計課「福島県の推計人口（福島県現住人口調査結果）H31.1.1現在」より

管内の概要

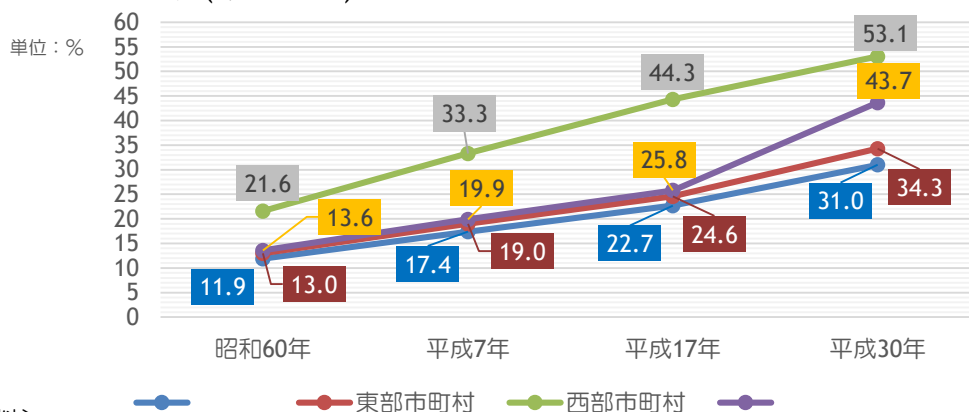
2. 人口



■ 総人口数の推移
(単位：百人)



■ 高齢化率の推移(単位：%)



<資料>

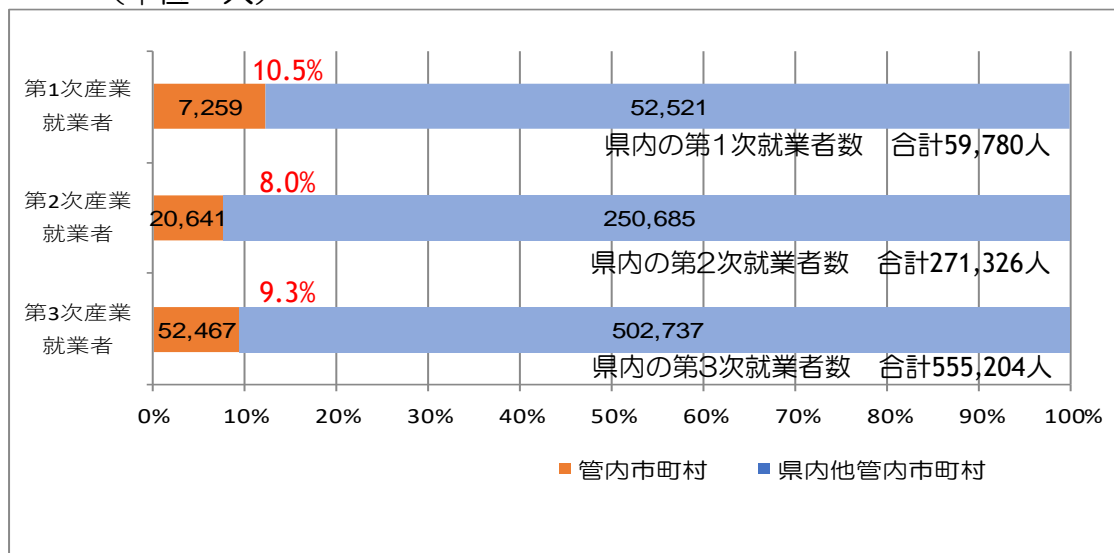
昭和60年、平成7年、平成17年のデータ：総務省「国勢調査報告」より

平成30年のデータ：福島県統計課「福島県の推計人口（福島県現住人口調査月報）H31.1.1現在」より

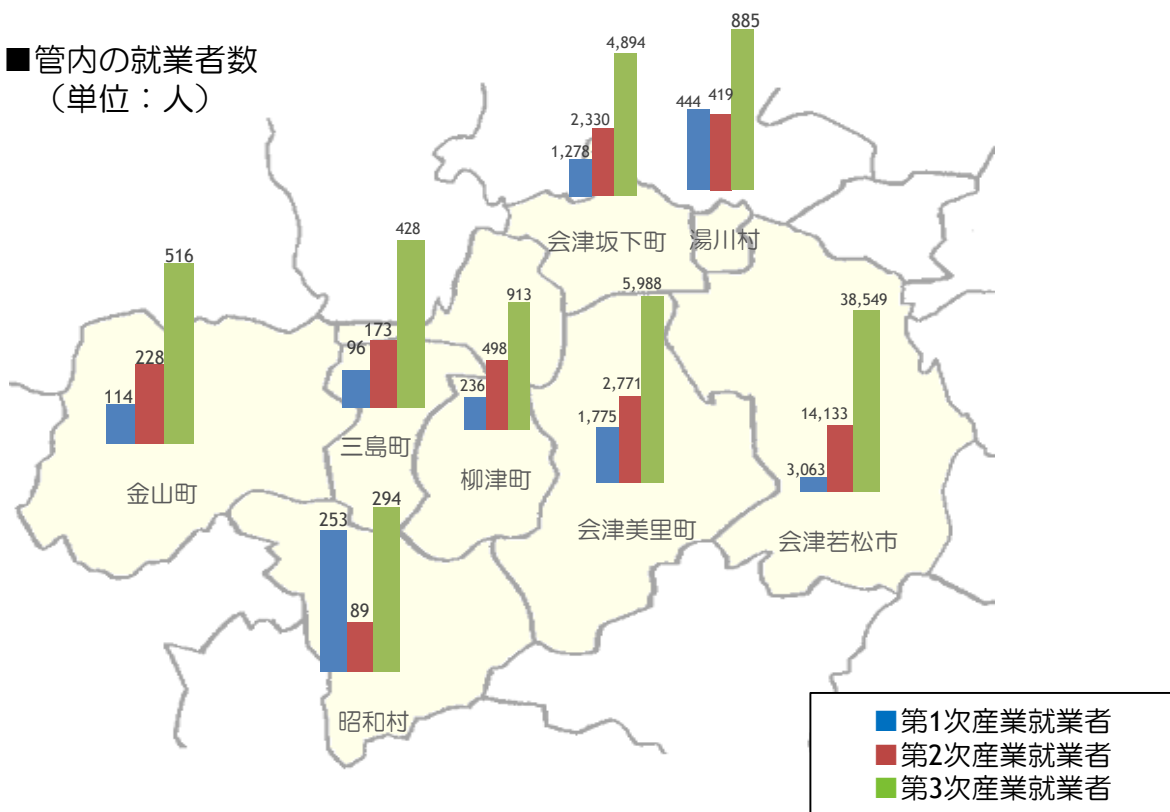
管内の概要

3. 就業者

■ 就業者数
(単位：人)



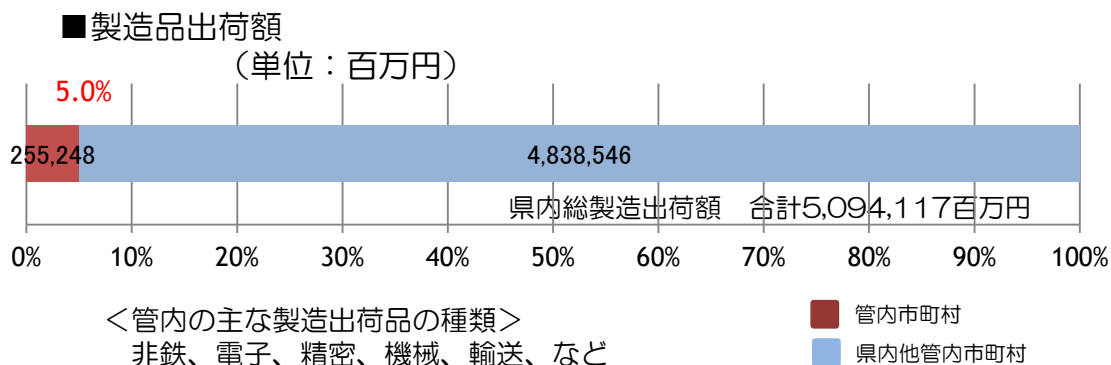
■ 管内の就業者数
(単位：人)



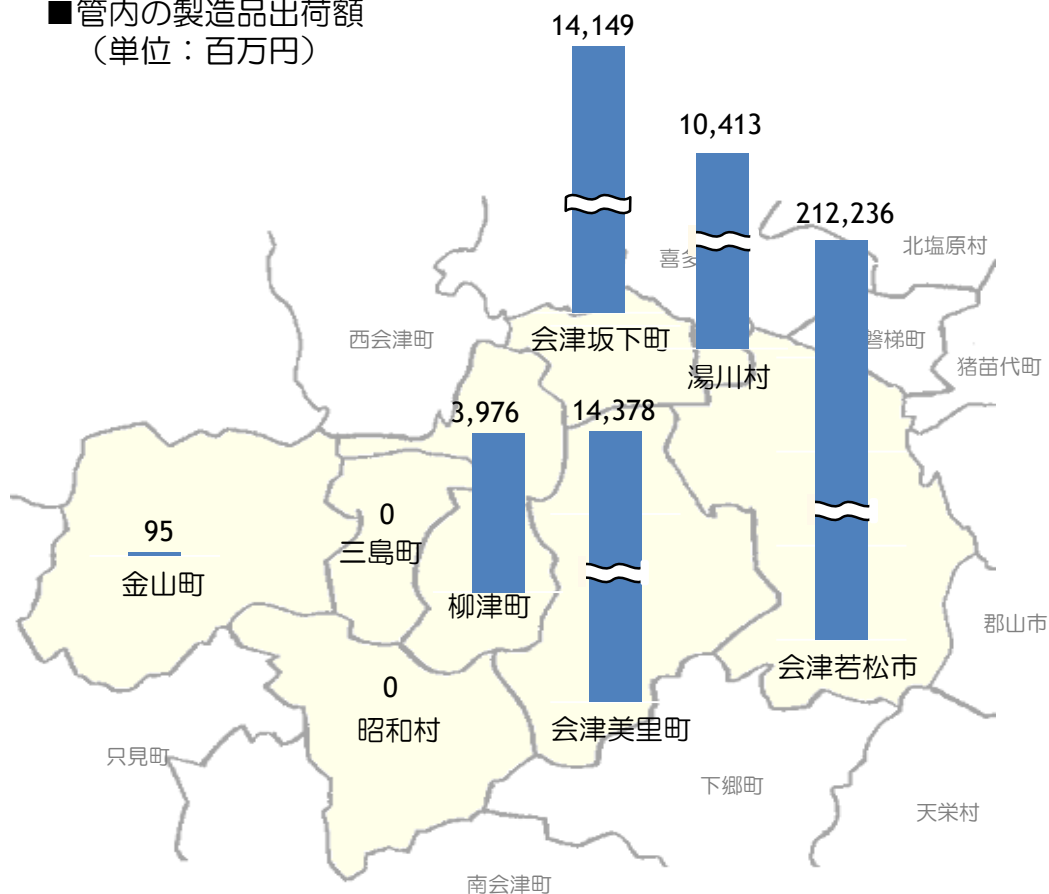
〈資料〉福島県企画調整部統計課「平成30年福島県勢要覧」より
調査時点：平成27年10月1日

管内の概要

4. 製造品出荷額



■ 管内の製造品出荷額
(単位：百万円)

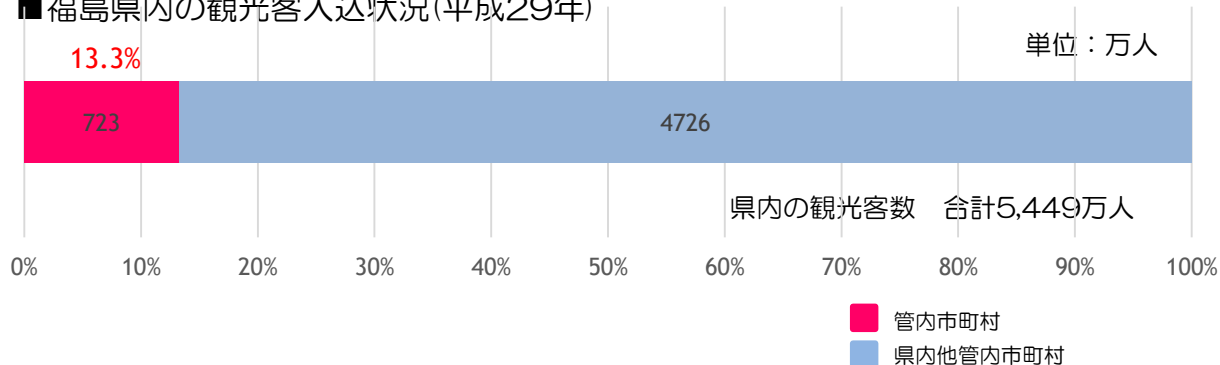


＜資料＞福島県企画調整部統計課「工業統計調査結果報告書」より
調査時点：平成26年12月31日

管内の概要

5. 観光客

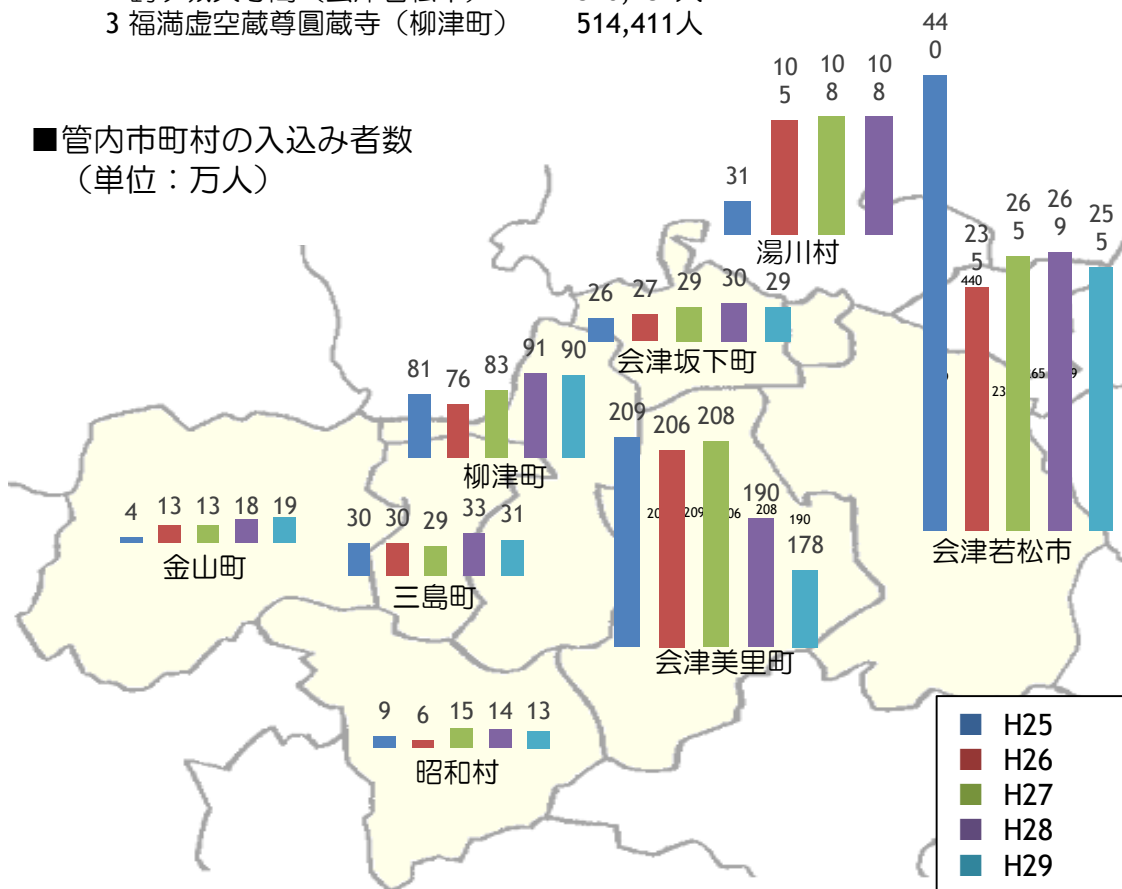
■福島県内の観光客入込状況(平成29年)



<主な観光地と入込客数(H29調べ)>

- 1 伊佐須美神社(会津美里町) 1,239,750人
- 2 鶴ヶ城天守閣(会津若松市) 570,182人
- 3 福満虚空蔵尊圓蔵寺(柳津町) 514,411人

■管内市町村の入込み者数
(単位：万人)

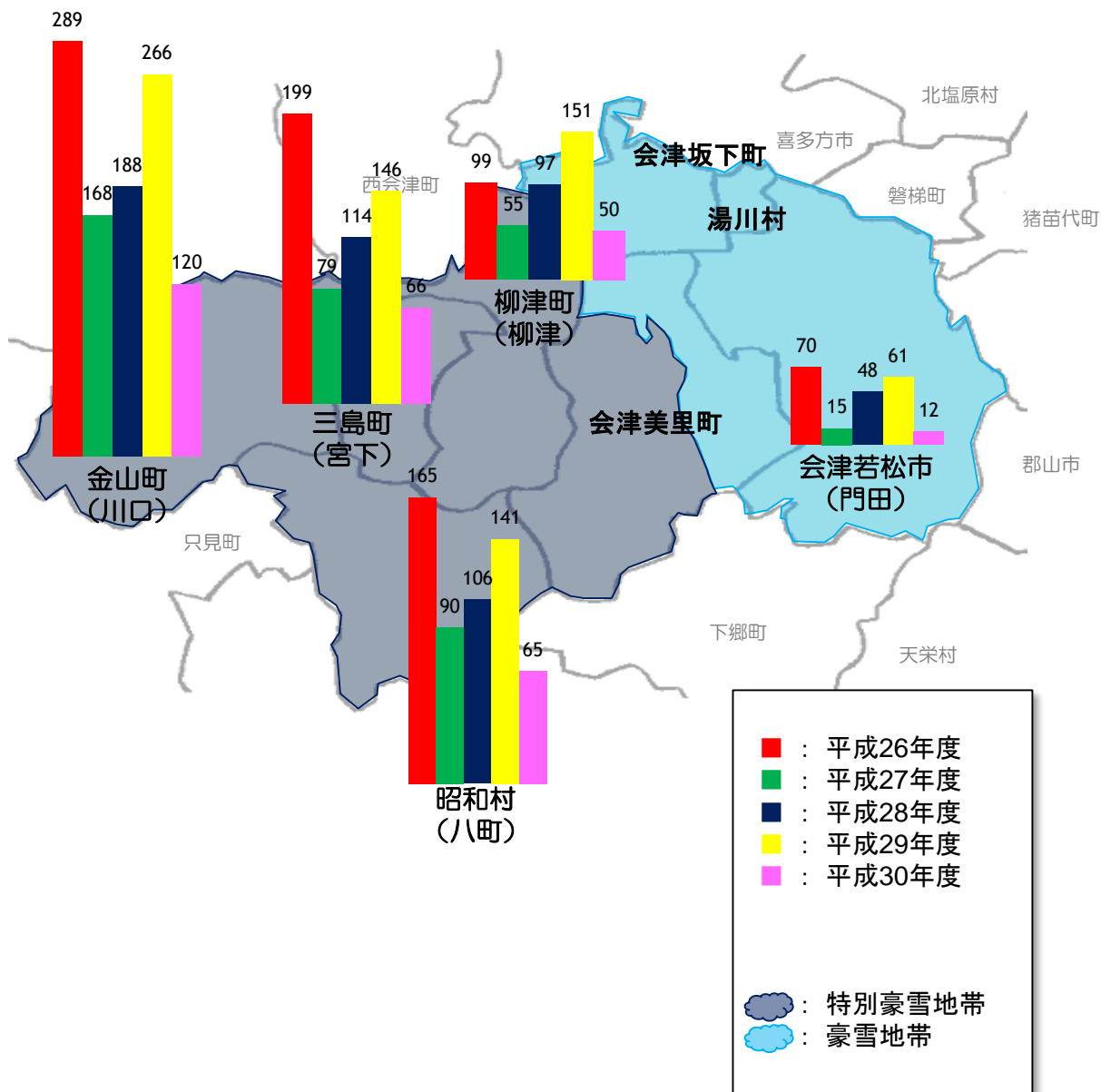


資料：福島県観光交流局観光交流課「観光客入込状況(平成29年分)」より

管内の概要

6. 気象（最大積雪深）

■管内の最大積雪深（単位：cm）



資料: 福島県会津若松建設事務所、宮下土木事務所観測データより

施設の管理

1. 管内の現況

(1) 管内道路の整備状況（平成29年4月1日国県道現況調書より）

道路の種類別	路線数	実延長(m)	改良済(5.5m未満含)		舗装済(簡易舗装含)	
			延長(m)	%	延長(m)	%
一般国道(指定区間)	1	38,128	38,128	100.0%	38,128	100.0%
一般国道(指定区間外)	8	201,223	172,339	85.6%	201,223	100.0%
主要地方道	14	168,319	121,521	72.2%	164,916	98.0%
一般県道	43	259,786	149,134	57.4%	236,329	91.0%
県管理合計	65	629,328	442,994	70.4%	602,468	95.7%
市町村道	7,588	2,855,566	1,755,332	61.5%	1,909,432	66.9%
管内総計	7,654	3,523,022	2,236,454	63.5%	2,550,028	72.4%

(2) 管内河川現況（平成30年3月31日現在）

河川種別	河川数	指定区間延長(km)	要改修延長(km)	改修済延長(km)	改修率(%)
一般河川(直轄)	1	40.4			
一般河川(県管理)	42	443.7	229.6	122.1	53.2
準用河川	46	132.5	23.4	4.6	19.7
普通河川	14	-	10.3	10.1	98.1
管内総計	103	616.6	263.3	136.8	52.0

(3) 管内砂防の状況（平成31年3月31日現在）

土石流危険渓流	危険箇所数	※危険箇所 I (a)	概成箇所数 (b)	整備率(%) (b)/(a)
	299	201	74	36.8%
地すべり危険箇所	危険箇所数 (a)	※危険箇所 I (a)	概成箇所数 (b)	整備率(%) (b)/(a)
	46	34	19	55.9%
急傾斜地崩壊危険箇所	危険箇所数	要対策箇所 (a)	概成箇所数 (b)	整備率(%) (b)/(a)
	166	108	30	27.8%
土砂災害危険所計	危険箇所数	要対策箇所 (a)	概成箇所数 (b)	整備率(%) (b)/(a)
	511	343	123	35.9%

(4) 都市計画区域指定一覧（平成30年3月31日都市計画年報より）

都市計画区域名	市町村名	都 市 計 画 区 域	面積 (ha)	H20国調人口	2人人口	都計区域指定年月日	最終変更年月日
会津	会津若松市	一部	17,676	122.0	118.0	S4.7.20	H16.5.14
	会津美里町(旧会津本郷町)	一部	1,400	5.7	5.2	S45.9.1	
	小計		19,076	127.7	123.2		
会津坂下	会津坂下町	一部	5,685		15.2	S23.11.27	H7.8.1
	湯川村	全部	1,637	3.2	3.1	S45.9.1	H26.5.27
	小計		7,322	19.4	18.3		
会津高田	会津美里町(旧会津高田町)	一部	1,140		7.1	S24.6.18	S58.9.9
3都計区域	4市町村		27,537	154.9	148.6		

施設の管理

2. 道路の維持管理

本県が管理する国・県道386路線、延長5,726kmのうち、当事務所の管理路線は、60路線629kmとなっています。

これらの道路を常に安全で良好な状態に保ち、快適に利用できるよう管理を充実させています。
(※直線距離で、おおよそ仙台～大阪間の距離に匹敵)

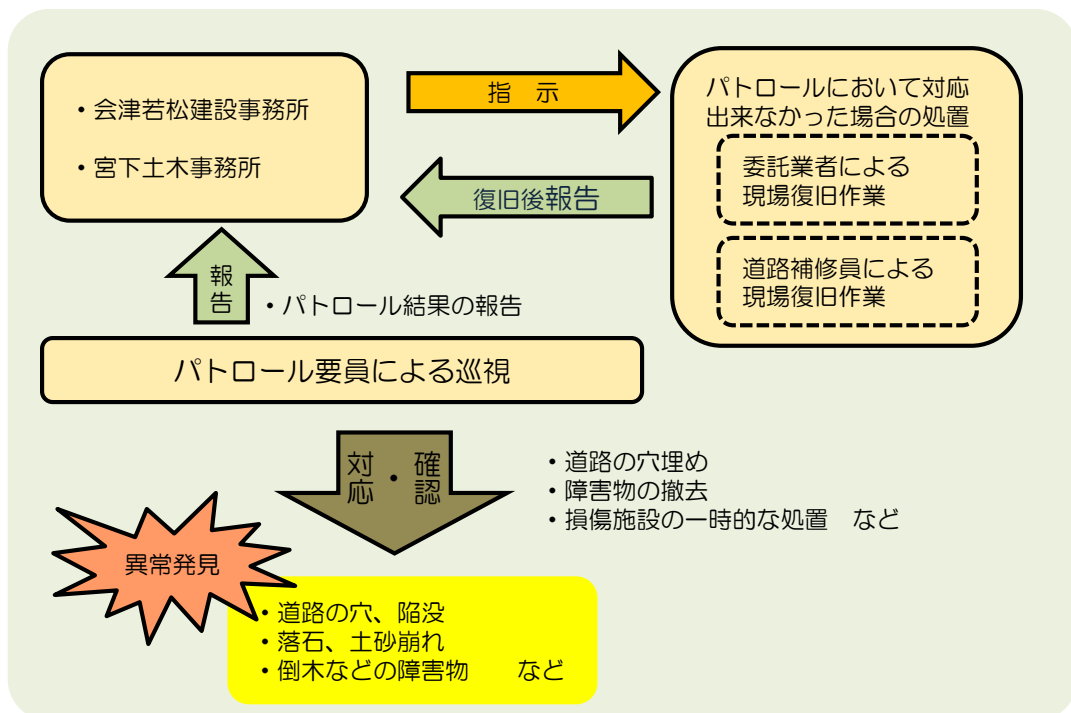
(1) 道路パトロール

国・県道の交通状況の把握、安全施設等を点検し、常に良好な状態を保って通行の安全を確保するとともに、不法な道路使用や不法投棄等を監視するため3台のパトロール車を配置し、道路パトロールを実施しています。

(2) 道路施設の補修・修繕

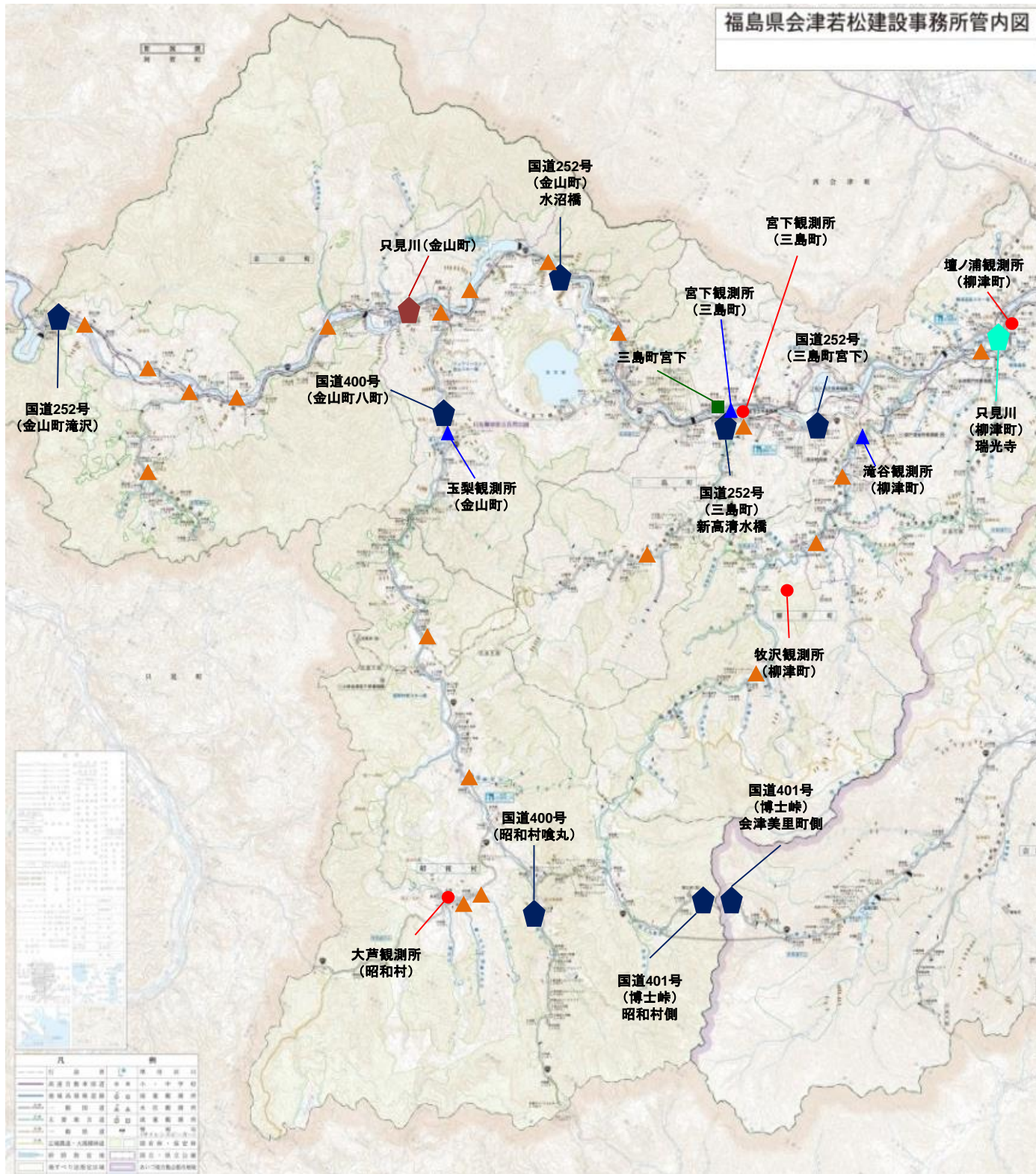
舗装や交通安全施設の補修・修繕をはじめ、道路の掘り返しの防止、必要な車両の制限、交通情報の提供等多岐にわたる施策を実施しています。

(3) パトロールの範囲



施設の管理

3. 水位・雨量観測所、水防倉庫、ライブカメラ位置図



施設の管理

4. 会津レクリエーション公園

会津レクリエーション公園は、昭和61年から20年の歳月をかけて、平成18年4月に全面開園しました。園内は、総面積 42.6ha、東西 約0.5km、南北 約1kmの広大な敷地を有し、次の施設があります。

- ・ 3haの芝生広場の「多目的スポーツイベント広場」
- ・ 季節の花が咲き誇る「花の広場」
- ・ 会津地方の伝説『手長』『足長』をイメージした遊びの空間「もくもく広場・冒険の森」
- ・ 休憩施設やユニバーサルデザインに対応し、誰でも利用できるトイレを完備した「インフォメーションエリア」 など

(1) 年間利用者数

開園期間中の近年の年間平均利用者数は、約5万人前後です。

(2) 管理の体制

開園期間中は、管理棟事務所に管理員が常駐しており、巡視員が毎日園内のパトロールを行っています。

パトロール中に倒木などを発見した際は、すぐに対応しています。

(3) 緊急事態の体制

熊や猪など、人へ危害を加える可能性の高い動物が確認・報告された際は、園内放送で呼び掛けを行い、場合によっては一時閉園します。

利用者が運動中などに負傷した場合でも、管理棟にAED・担架が常備されています。

(4) 自然環境への配慮

園内に「緑のリサイクル施設」があり、園内で発生した刈草・伐木などは専用の機械を用いて堆肥へ再利用しています。



磐梯河東ICより車で約8分

会津若松市湊町大字赤井字笹山原（国道49号と県道376号（湖南湊線）の交差点）

〈開園期間〉4月中旬から12月下旬頃まで

〈開園時間〉午前8時から午後5時まで（インフォメーションエリアは24時間使用できます。）

施設の管理

5. 東山ダム

東山ダムは、一級河川阿賀野川水系湯川の会津若松市東山町に建設された多目的ダムです。一級河川湯川は、東山温泉街や会津若松市街地を経て阿賀川に合流する都市河川であり、過去には幾度も氾濫し洪水被害をもたらしました。このため湯川総合開発事業の一環として、昭和58年に東山ダムが建設されました。

東山ダムの目的は以下の4つです。

(1) 洪水調節

ダム地点の計画高水流量 $350\text{m}^3/\text{s}$ のうち、 $315\text{m}^3/\text{s}$ の洪水調節を行います。有効貯水容量 $11,500,000\text{m}^3$ を有効に利用するため、洪水期と非洪水期に分けて運用しています。

洪水期（6月21日～10月10日）は洪水調節容量 $7,000,000\text{m}^3$ を、非洪水期（10月11日～6月20日）は $5,700,000\text{m}^3$ を利用して洪水調節します。

なお洪水調節方式は自然調節方式であるため、人為的な操作を必要としません。

(2) 流水の正常な機能の維持

下流既得用水（農業用水など）及び河川の維持用水（水質や動植物の生息環境の維持）として、ダム地点で最小 $0.20\text{m}^3/\text{s}$ を放流します。

(3) 上水道水の供給

会津若松市の上水道用水として最大 $0.2933\text{m}^3/\text{s}$ を取水し、東山浄水場へ供給しています。

(4) 管理用発電

上記目的のための放流水（最大 $2.0\text{m}^3/\text{s}$ ）を利用して、最大出力 700kW の水力発電をしています。発電した電力はダム設備で使用しており、余剰電力は東北電力に売電しています。



施設の管理

6. 道の駅

1. 整備の目的

道路利用者のための「休憩機能」、道路利用者や地域の方々のための「情報発信機能」、そして「道の駅」をきっかけに町と町とが手を結び活力ある地域づくりを共に行うための「地域の関係機能」、の3つの機能を併せ持つ施設「道の駅」を整備することにより、交通事故の減少や地域活性化を図ります。

① 奥会津かねやま

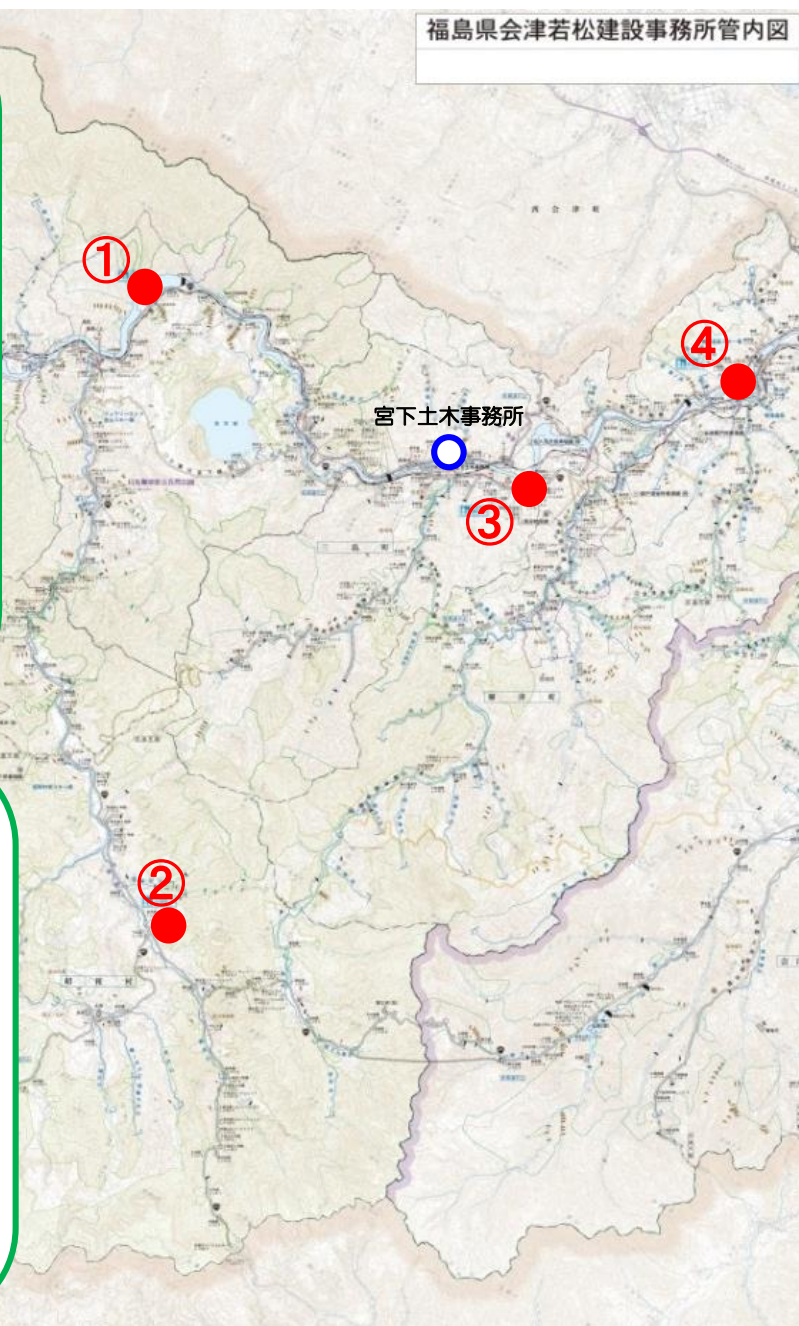


「道の駅」奥会津かねやまは町の中心部から約3kmの位置にあり、会津若松市方面と南会津方面を結ぶ国道252号沿いに立地しており、国道400号との交差点点にも近い場所にあります。施設では、町内産の手打ちソバを提供するとともに、奥会津町村の物産を販売し、地域の中核施設として情報発信と活性化を図っています。

② からむし織の里しょうわ



道の駅「からむし織の里しょうわ」は、昭和村の中心部の国道2路線が交わる地区に位置しており、観光・道路情報の発信・提供を行っています。



2. 整備の概要

福島県内では平成29年に新たに3駅が登録となりました。平成5年度の登録制度の運用開始以来、33駅（内会津若松管内は5駅）になります。

③ 尾瀬街道みしま宿



「道の駅」尾瀬街道みしま宿は、磐越自動車道坂下ICから国道252号で約20分、約15kmの地点に位置し、奥会津の玄関口として観光客の最初の休憩地点となっています。またJR只見線の名物である鉄橋を一望できるビューポイントの近くであり、多くのカメラマンが訪れるところでもあります。

④ 会津柳津



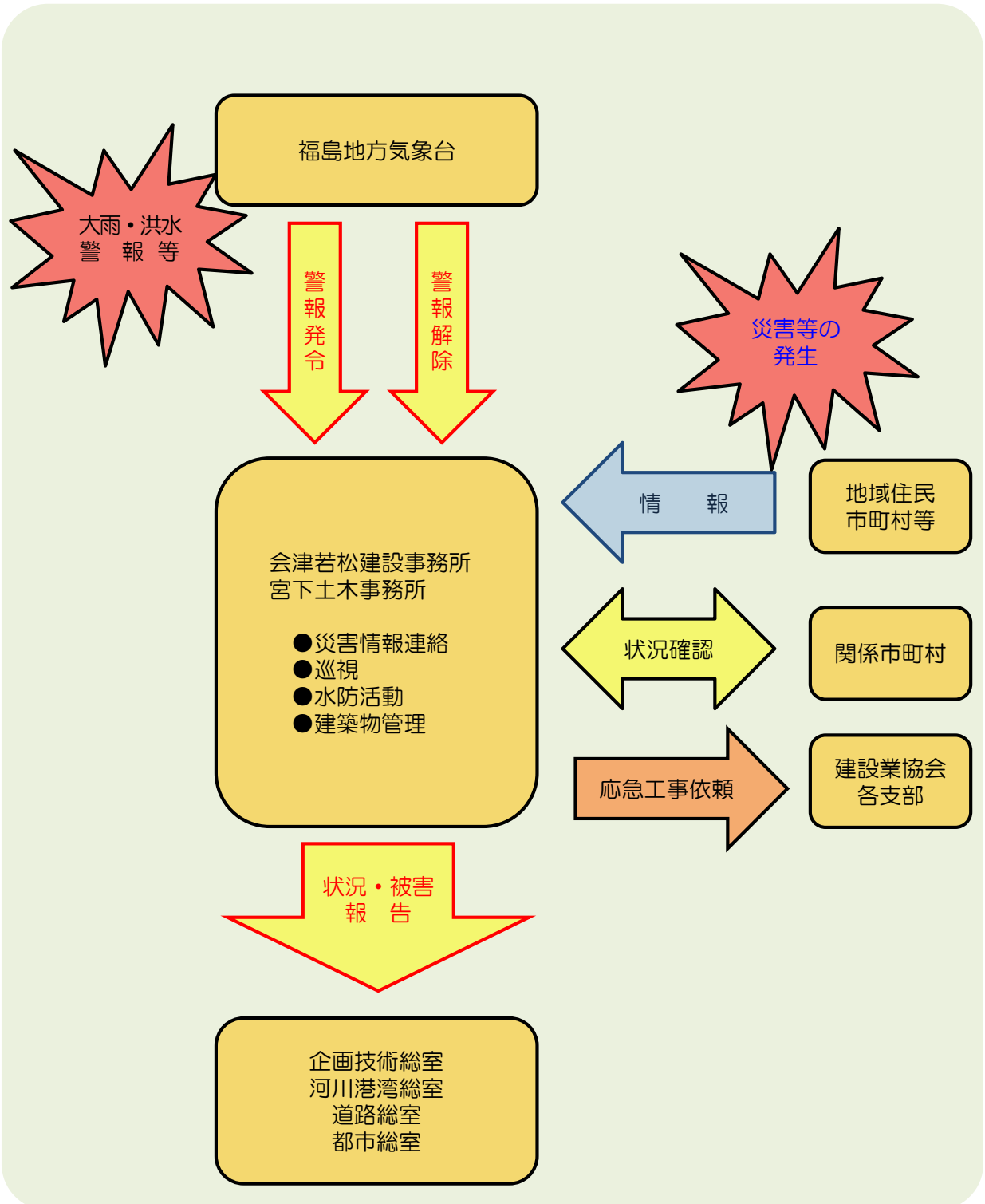
道の駅「会津柳津」は、福島県南西部に位置する柳津町の国道252号沿いにあり、奥会津の玄関口にあたります。施設は、駐車台数65台の広い駐車場や、奥会津特産品展示コーナー・土産コーナー・地域PRコーナー、手打ちの博土そばが食べられる飲食コーナーなどがあります。他にも休憩・情報提供などにより休憩をとりながら奥会津9町村の様々な情報を得ることができます。

⑤ あいづ 湯川・会津坂下



道の駅「あいづ 湯川・会津坂下」は、一般国道49号に接し、会津盆地の中心で、飯豊連峰や磐梯山を眺望できる他、周囲を水田や川に囲まれるなど年間を通して四季を感じる風光明媚なロケーションにある大型休憩施設です。

7. 異常気象時の事務所体制

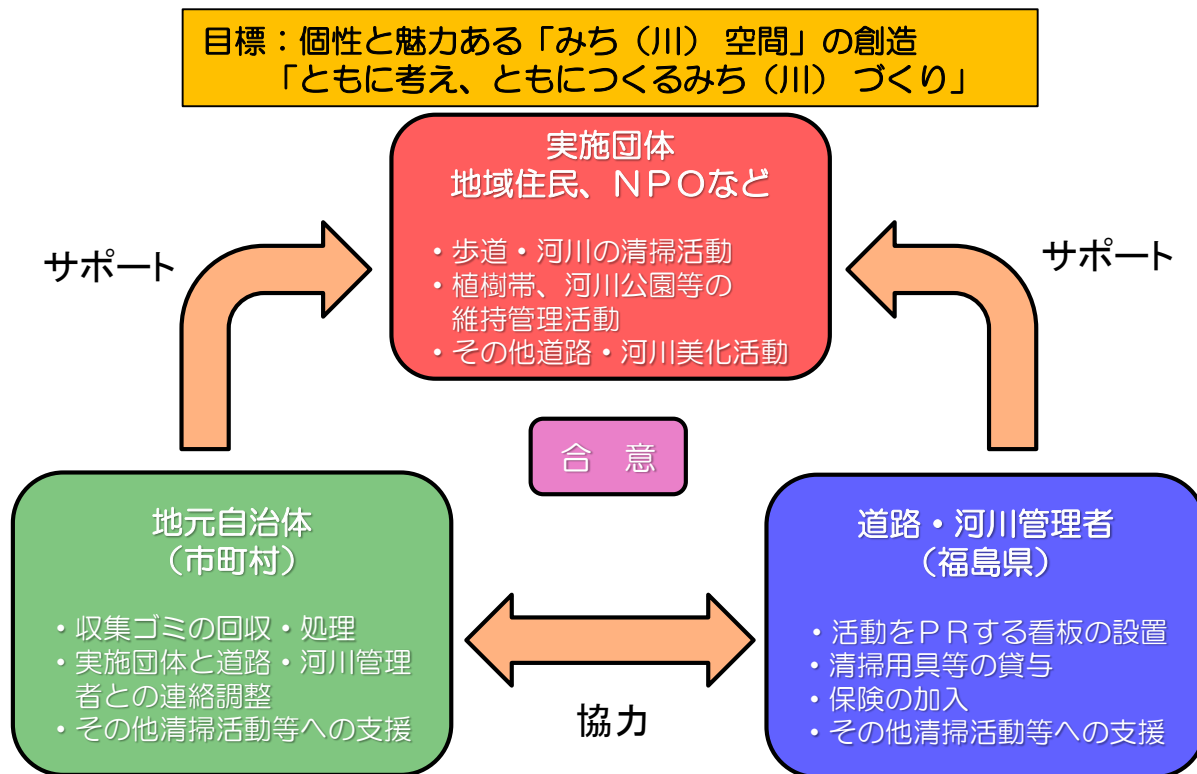


施設の管理

8. 民間団体との連携

近年の、ボランティア活動の活性化や行政への参加意欲の高まりなどを背景として、地域の方々と市町村、県の三者が協働して、道路・河川の清掃美化活動を行う「うつくしまの道・サポート制度」及び「うつくしまの川・サポート制度」を設けています。

道路・河川管理者（県）と地元自治体（市町村）は、清掃用具の貸与、保険の加入、収集ゴミの回収などにより、実施団体（地域住民など）の活動を支援し、道路・河川への愛着心を育てながら、地域にふさわしい道・川づくりを進めています。



○ 効果と可能性

地域の方々やNPOなどの実施団体、道路・河川管理者と地元自治体とのパートナーシップの形成を図ることにより、以下の効果が期待されます

- ① ボランティア活動の活性化
- ② 良好な道路・河川環境の創出
- ③ 地域の方々や道路・河川利用者の満足度の向上
- ④ 道路・河川への愛着心と美化意欲の向上
- ⑤ 道路・河川利用者のマナーの向上

○ 協定団体

道路 15団体
河川 4団体

(うち2団体は道路・河川の両方で締結) 全17団体

事業概要

1. 予算

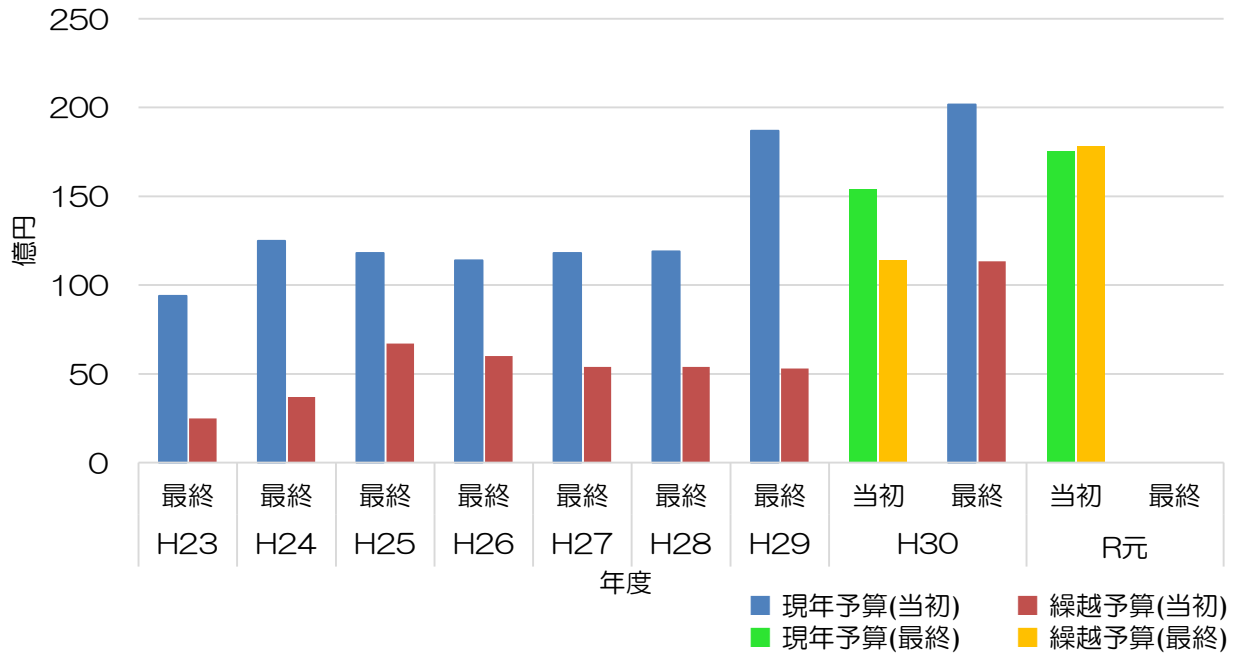
令和元年度予算額

県当初予算額 1兆4,603億円 (平成30年度当初予算比1.01倍)

土木部当初予算額 2,802億円 (平成30年度当初予算比1.25倍)

会津若松建設事務所当初予算額 R元 354億円(工事費ベース)
(H30 268億円) (平成30年度当初予算比1.32倍)

事務所予算の推移



年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30		R元	
	最終	最終	最終	最終	最終	最終	最終	当初	最終	当初	最終
現年予算	94	125	118	114	118	119	187	154	202	176	
繰越予算	25	37	67	60	54	54	53	114	113	178	
計	119	162	185	174	172	173	240	268	315	354	

※予算については、工事費ベースとし、H23～H29は最終予算額、H30の最終予算及びR元の当初予算は予定額を記載。

事業概要

2. 基本方針

会津らしい歴史・文化を活かした産業振興と
おもてなしのまち（地域）づくりを進め、復興を支援します。
～「新生ふくしま」の実現に向けて、会津から元気発信～

主要な業務運営目標 ～実現に向けて～

- (1) 地域の安全・安心な
生活を支える基盤づくり
- (2) 地域の産業振興を支援し、
様々な交流を促進するみちづくり
- (3) 豊かな自然や美しい風景、歴史・文化など
地域の特性を活かした
おもてなしのまち（地域）づくり



法用寺の三重塔
(会津美里町)



沼沢湖（金山町）



郷土料理「こづゆ」



鶴ヶ城（会津若松市）



冬の只見線



大俵引き（会津坂下町）



工人まつり（三島町）

3. 平成30年度完了の主な事業

●只見川筋（大沼郡金山町大字大塩地内）【土倉工区】

（１）事業の目的

新潟・福島豪雨では甚大な浸水被害が発生したことから、県民の安全安心を確保するため、河川改修により浸水対策を図ります。

（２）事業概要

事業着手	平成27年度
事業完了	平成30年度
計画内容	護岸基礎工、法覆護岸工 擁壁護岸工、排水構造物工 付帯道路工、付帯道路施設工

位置図



施工前



施工後



事業概要

平成30年度完了の主な事業

●県道柳津昭和線（河沼郡柳津町大字大成沢）【大成沢工区】

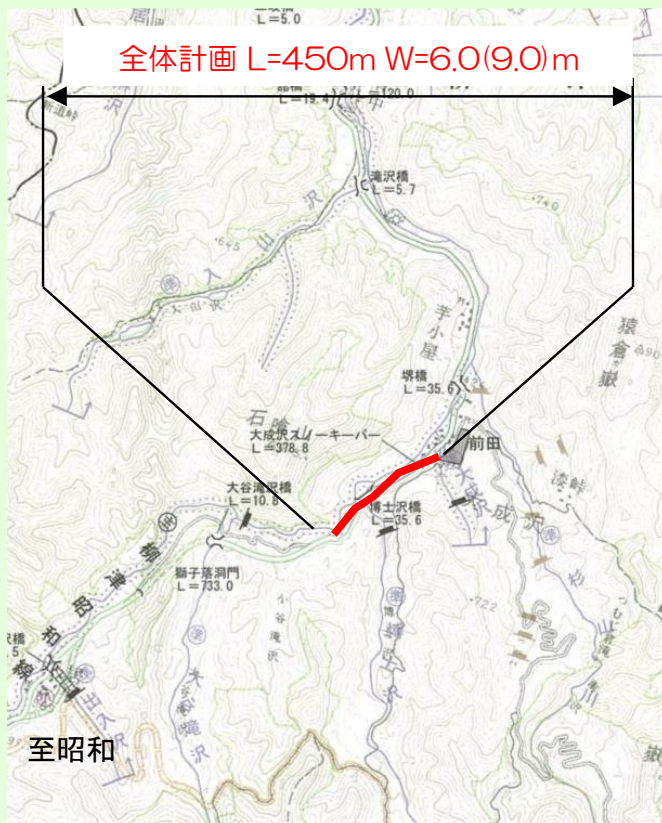
(1) 事業の目的

現道は幅員が狭く、すれ違いが困難となっており、走りにくい道となっているため、現道の拡幅を行い、安全で円滑な交通を確保します。

(2) 事業概要

事業着手 平成25年度
事業完了 平成30年度
計画内容 改良工
L=450m
W=6.0(9.0)m

位置図



施工前



施工後



事業概要

平成30年度完了の主な事業

● 県道柳津昭和線（大沼郡昭和村大字小野川地内）【小野川工区】

（１）事業の目的

県道柳津昭和線は、柳津町と昭和村を結ぶ唯一の生活路線でもあるとともに、冬期間通行止めとなる国道401号の代替え路線でもある重要な路線です。

冬期間は、東の強風による地吹雪が発生し、車輛の通行に支障をきたしており、防雪柵を設置することにより、冬期間における通行車輛の安全確保に寄与します。

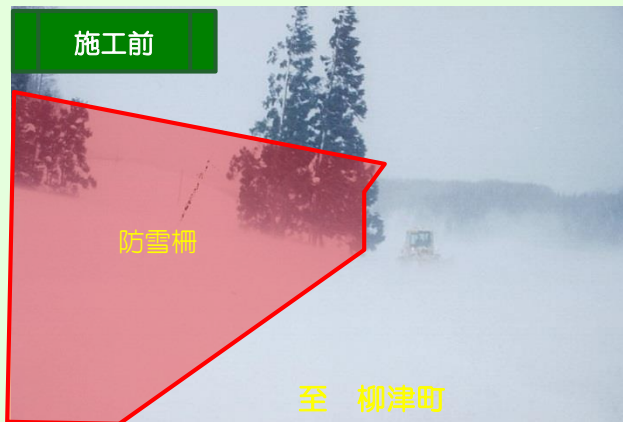
（２）事業概要

事業着手 平成21年度
事業完了 平成30年度
計画内容 防雪柵工
L=476m
H=5.0m

位置図



施工前



施工後



施工後



事業概要

(1) 地域の安全・安心な生活を支える基盤づくり

4. 実現に向けて（令和元年度主要事業）

(1) 地域の安全・安心な生活を支える基盤づくり

①会津地域の「命を守る道路」を確保します。

●国道118号（会津若松市門田町）【門田2工区】

(1) 事業の目的

対象箇所は道路幅員、歩道幅員ともに狭小で、朝夕通勤時は交通渋滞が著しく、通学児童が危険な状態となっています。

そのため本事業により、交通渋滞緩和と安全な走行・歩行空間を確保します。

(2) 事業概要

事業着手 平成27年度

事業完了 2020年代初頭

計画内容 道路改良工 L=680m W=6.5(18.0)m

消雪工 L=573.2m

散水 L=419.1m

無散水 A=1,767.5m²

横断歩道橋工 L=18.7m W=1.5m

(3) 令和元年度の事業内容

道路改良工 L=180m

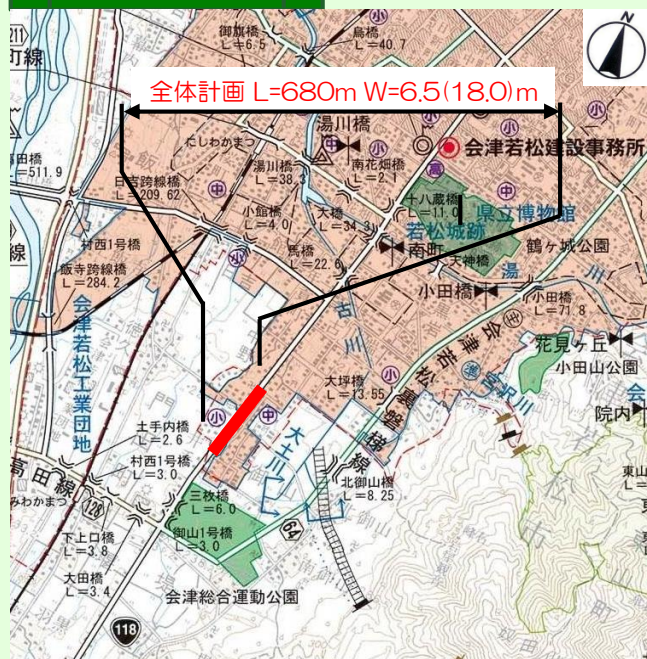
横断歩道橋工 N=1箇所

○現場のポイント

現道交通及び通学児童の通学経路を確保するとともに、沿道からの出入り等に配慮して安全に工事を行います。

広幅員化と消融雪施設の整備により、安全で快適な歩行空間を創出します。

位置図



工事前



現在の状況



事業概要

(1) 地域の安全・安心な生活を支える基盤づくり

①会津地域の「命を守る道路」を確保します。

●県道喜多方会津坂下線（河沼郡会津坂下町字古町川尻）【緑町工区】

(1) 事業の目的

朝夕の通勤時間帯は右折車が滞留し、交通渋滞や交通事故の危険性が高くなっています。本地区の周辺には、坂下小学校、坂下保育所や役場など、主要な公共施設が点在しており、歩道整備の必要性があります。

国で実施する国道49号拡幅工事と併せて、交差点を改良することで、交通渋滞や交通事故を解消します。

(2) 事業概要

事業着手 平成24年度
事業完了 令和元年度
計画内容 交差点改良工
L=310m
W=6.0(12.0)m

(3) 令和元年度の事業内容

舗装工
L=241m
W=6.0(12.0)m
A=1,500m²

位置図

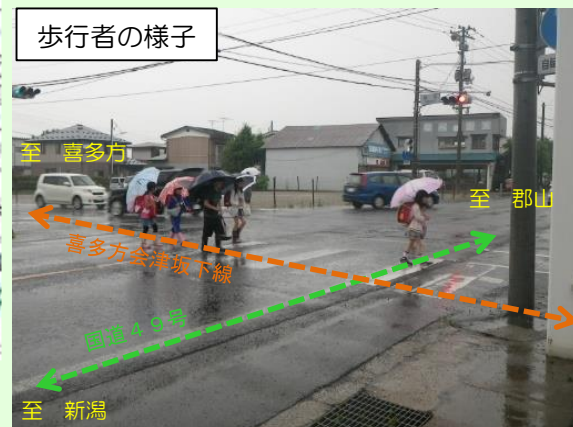


現在の状況

朝夕の通勤時間



歩行者の様子



事業概要

(1) 地域の安全・安心な生活を支える基盤づくり

①会津地域の「命を守る道路」を確保します。

●県道浜崎高野会津若松線（河沼郡湯川村大字浜崎地内）【浜崎工区】

(1) 事業の目的

現道の幅員が非常に狭く、車両のすれ違い、歩行者の通行に支障をきたしています。また、クランク箇所があるなど、幅員の狭さに加えて道路線形も悪い箇所のため、道路の改良工事を行います。

(2) 事業概要

事業着手 平成25年度
計画内容 改良工
L=600m
W=6.0(10.0)m

(3) 令和元年度の事業内容

道路計画策定 N=1式

位置図



現在の状況



クランク箇所



事業概要

(1) 地域の安全・安心な生活を支える基盤づくり

○会津地域の「命を守る道路」を確保します。

●熊の目浜崎線（河沼郡湯川村大字浜崎地内）【熊ノ目工区】

(1) 事業の目的

県道熊の目浜崎線は、勝常小学校の通学路でもあり、欠かすことの出来ない重要な路線です。

冬期間は、地吹雪による視界不良が発生し、車輛の通行に支障をきたしており、仮設防護柵も老朽化が著しいことから防雪柵を設置することにより、冬期間における通行車輛の安全確保に寄与します。

(2) 事業概要

事業着手 平成30年度
事業完了 令和3年度
計画内容 防雪柵工
L=550m
H=3.5m

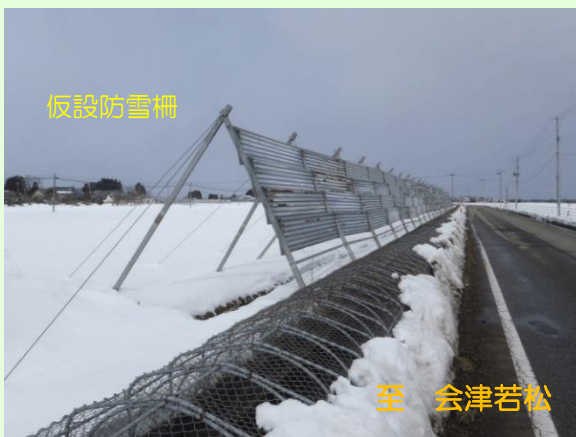
(3) 令和元年度の事業内容

防雪柵工 L=260m

位置図



施工前の状況



事業概要

(1) 地域の安全・安心な生活を支える基盤づくり

①会津地域の「命を守る道路」を確保します。

●県道会津若松三島線（大沼郡柳津町大字久保田）【久保田工区】

(1) 事業の目的

久保田集落付近には観光地があり、バスなどの大型車両が通行する一方で、現道は幅員が狭くすれ違いが困難となっており、走りにくい道となっています。

本事業により、困難な車のすれ違いを緩和いたします。

(2) 事業概要

事業着手 平成21年度

計画内容 改良工

L=360m

W=4.0(5.0)m

(3) 令和元年度の事業内容

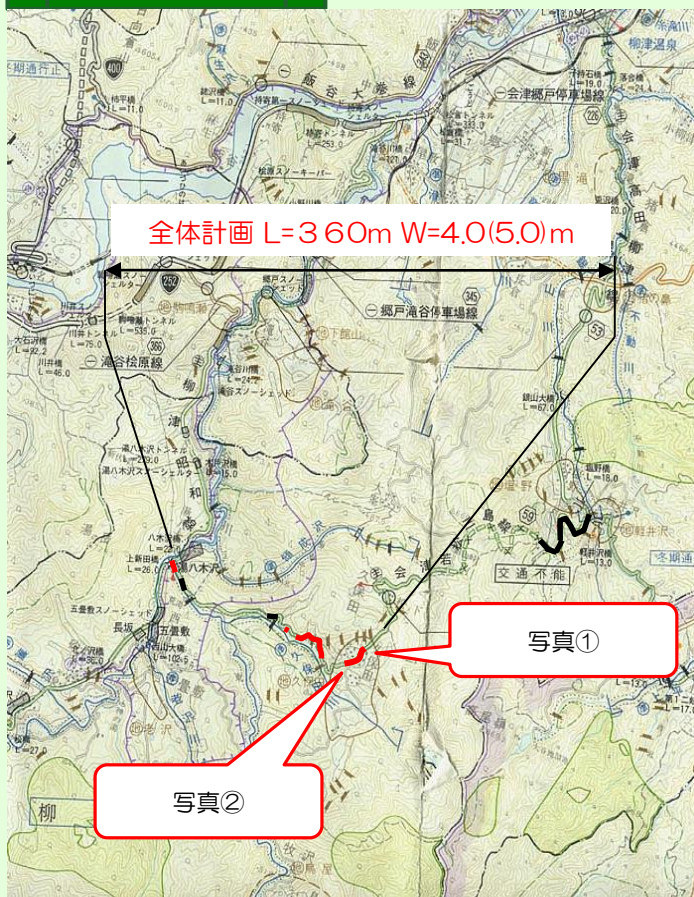
地すべり調査 N=1式

用地補償 N=1式

○現場のポイント

1.5車線計画に基づき一定の場所の幅員を広げることで、車両の交互通行や安全性の確保が期待できます。

位置図



現在の状況①



現在の状況②



事業概要

(1) 地域の安全・安心な生活基盤を支える基盤づくり

①会津地域の「命を守る道路」を確保します。

●国道252号（河沼郡柳津町大字細八地内）【細八工区】

(1) 事業の目的

当該区間は、歩道が未整備区間であり、走行車両と通学児童との交通事故の危険性が高くなっています。歩道を整備することで走行車両と歩行者を分離し、交通事故の危険性を解消します。

(2) 事業概要

事業着手 平成29年度
計画内容 改良工
L=220m
W=6.5(13.0)m

(3) 令和元年度の事業内容

歩道工
L=80m

位置図



現在の状況



事業概要

(1) 地域の安全・安心な生活を支える基盤づくり

①会津地域の「命を守る道路」を確保します。

●県道会津若松三島線（大沼郡三島町大字大谷）【大谷工区】

(1) 事業の目的

現道は幅員が狭く、すれ違いが困難となっています。過去の土砂崩落により近隣の集落が孤立状態になったこともあり、住民の安全な生活・交通確保のために道路改良を行います。

(2) 事業概要

事業着手 平成25年度
計画内容 改良工
L=1,100m
W=6.0(8.0)m

(3) 令和元年度の事業内容

用地補償 N=1式

○現場のポイント

工事着手に向けて、用地補償を推進します。

位置図



現在の状況



至 会津若松



至 会津若松

事業概要

(1) 地域の安全・安心な生活を支える基盤づくり

①会津地域の「命を守る道路」を確保します。

●県道滝谷桧原線（大沼郡三島町大字桧原）【桧原バイパス】

(1) 事業の目的

本路線は急カーブと急勾配のため、通行に支障をきたしています。また、平成22年5月に金山町玉梨地内で発生した落石による国道400号の全面通行止めの際には、本路線が迂回路となり、その重要性が改めて認識されました。このため、国道400号の代替路線としての機能強化を図るため、バイパスの整備を行います。

(2) 事業概要

事業着手 平成24年度
計画内容 改良工
L=1,100m
W=6.0(8.0)m
トンネルL=約750m

(3) 令和元年度の事業内容

用地補償
トンネル詳細設計

○現場のポイント
トンネル等の詳細設計を進めると共に用地買収を進めます。

位置図



現在の状況



事業概要

(1) 地域の安全・安心な生活を支える基盤づくり

①会津地域の「命を守る道路」を確保します。

●中川大栗山線（大沼郡金山町大字中川地内）【中川工区】

（１）事業の目的

中川大栗山線の現道は急峻・急カーブで幅員が狭く、すれ違いが困難となっており、走りにくい道となっています。

道路改良により、安全安心な道づくりを目指します。

(2) 事業概要

事業着手 平成13年度

計画内容 改良工

 $L = 2,202 \text{ m}$
$$W=6.0(8.0)\text{ m}$$

(3) 令和元年度の事業内容

橋梁下部工 N=1 基

橋梁上部工 $L=123.0\text{m}$

$$W=6.0 \text{ (8.0) m}$$

○事業の効果

本箇所は、JR只見線会津中川駅の正面に位置する自然環境に恵まれた路線であり、沿線には、妖精の眠る沼沢湖や国道252号の道の駅「奥会津かねやま」等が存在し、多くの観光客に利用されることが期待できます。

位置图



現在の状況



工事状況



工事状況



事業概要

(1) 地域の安全・安心な生活を支える基盤づくり

①会津地域の「命を守る道路」を確保します。

●県道大内会津高田線（大沼郡会津美里町富川）【宮瀬橋】

(1) 事業の目的

県道大内会津高田線は、下郷町と会津美里町を結ぶ重要な路線です。

宮瀬橋は、幅員が狭く高欄も低い状況にあるので、通学路に指定されていません。そのため、バイパス（新橋梁）を整備することにより、児童の通学路の確保及び車輛の安全な通行を図ります。

(2) 事業概要

事業着手 平成25年度
計画内容 改良工
L=990m
W=6.0(10.0)m

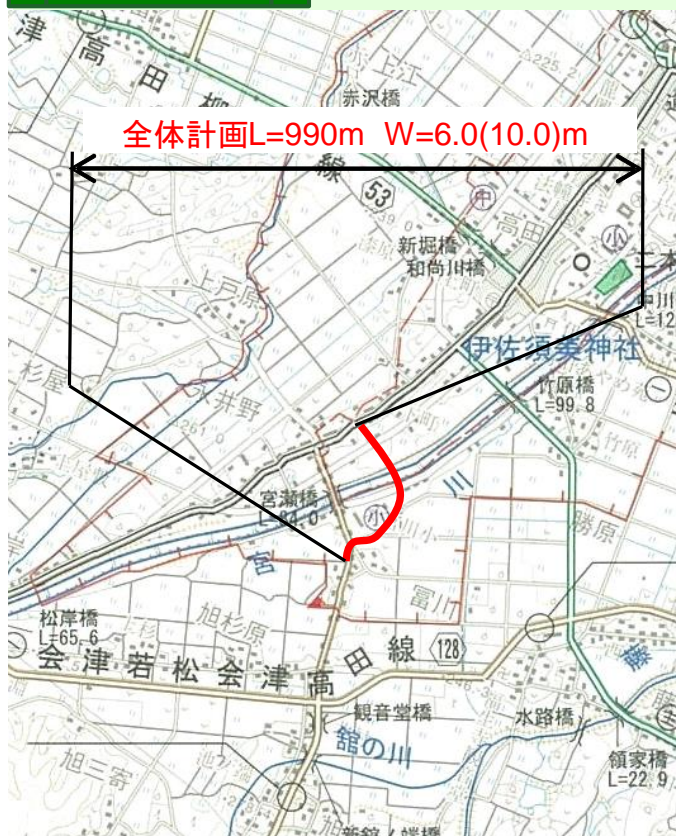
(3) 令和元年度の事業内容

橋梁下部工 N=5基
道路改良工 L=270m
用地補償 N=1式

○現場のポイント

今年度より、本工区の中心となる(仮称)宮瀬橋の工事に着手します。

位置図



現在の状況



一部改良区間



事業概要

(1) 地域の安全・安心な生活を支える基盤づくり

②自然災害へ備えるため、計画的な河川改修や砂防施設を整備します。

●只見川【河川】（会津坂下町、柳津町、三島町、金山町）

(1) 事業の目的

平成23年7月の新潟・福島豪雨は、過去最大規模の雨量となり、甚大な浸水被害が発生しました。県民の安全安心を確保するため、河川改修により浸水対策を図ります。

(2) 事業概要

事業着手 平成27年度
事業完了 概ね30年間
計画内容 只見川 外 N=2.0箇所
築堤工、宅地嵩上工

(3) 令和元年度の事業内容

築堤護岸工 N=5地区
河道掘削工 N=1地区
調査、測量設計、用地補償

位置図



被災状況

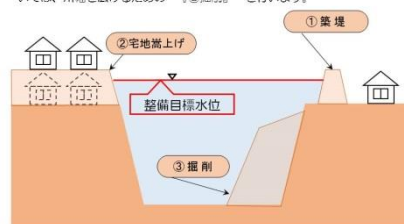


浸水状況



～洪水から人家(人命)を守ります～

・整備目標流量の水位に対して、土地の高さが低い地区においては、人家への浸水を防ぐために『①築堤（橋中堤）』や『②宅地嵩上げ』を行います。
・また、川幅を広げることで、その上流側の水位を下げる効果が大い箇所については、川幅を広げるための『③掘削』を行います。



事業概要

(1) 地域の安全・安心な生活を支える基盤づくり

②自然災害へ備えるため、計画的な河川改修や砂防施設を整備します。

●只見川【河川】（会津坂下町）

○事業概要

事業着手 平成27年度
事業完了 概ね30年間（只見川全流域）
計画内容 片門地区 築堤護岸工

○令和元年度の事業内容

築堤護岸工 N=1地区（片門地区）
用地補償

●只見川【河川】（柳津町）

○事業概要

事業着手 平成27年度
事業完了 概ね30年間（只見川全流域）
計画内容 柳津地区 外3地区
築堤護岸工、河道掘削工、
宅地嵩上工

○令和元年度の事業内容

築堤護岸工 N=1地区（柳津地区）
測量、設計、用地補償

●只見川【河川】（三島町）

○事業概要

事業着手 平成27年度
事業完了 概ね30年間（只見川全流域）
計画内容 小和瀬地区 外1地区
築堤護岸工、宅地嵩上工

○令和元年度の事業内容

築堤護岸工 N=1地区（小和瀬地区）
測量、設計、用地補償

●只見川【河川】（金山町）

○事業概要

事業着手 平成27年度
事業完了 概ね30年間（只見川全流域）
計画内容 西谷地区 外12地区
築堤護岸工、河道掘削工
宅地嵩上工

○令和元年度の事業内容

築堤護岸工 N=2地区
（橋立地区、湯倉地区）
河道掘削工 N=1地区（中西部地区）
測量、設計、用地補償

事業概要

(1) 地域の安全・安心な生活を支える基盤づくり

②自然災害へ備えるため、計画的な河川改修や砂防施設を整備します。

●湯川【河川】（会津若松市）

(1) 事業の目的

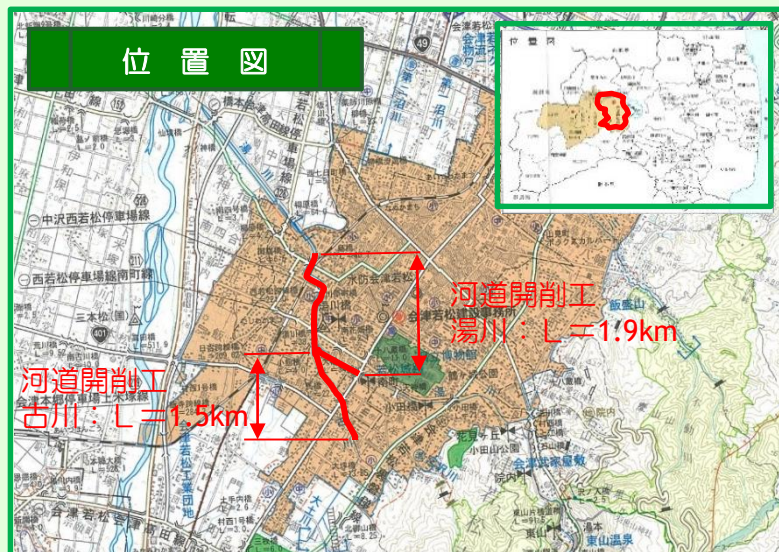
洪水防御のため、川底の土砂を掘削することにより河積を拡大し、浸水被害の防止を図ります。

(2) 事業概要

事業着手 平成26年度
事業完了 令和元年度予定
計画内容 河道開削 湯川：L=1.9km
古川：L=1.5km

(3) 令和元年度の事業内容

河道開削工 湯川：L=1,035.0 m
古川：L=1,500.0 m



事業実施状況

工事前 JR只見線より上流



工事後(H30施工) JR只見線より上流



事業概要

(1) 地域の安全・安心な生活を支える基盤づくり

②自然災害へ備えるため、計画的な河川改修や砂防施設を整備します。

●旧湯川支川湊川【河川】（湯川村、会津若松市）

(1) 事業の目的

昭和61年、平成8年の大雨により、谷沢川及び金山川合流付近等で浸水被害が発生したため、河川改修を実施しています。

(2) 事業概要

事業着手 平成9年度
事業完了 2020年代後半
計画内容 旧湯川 L=9,400m
 河道掘削工、築堤工、護岸工
 湊川 L=8,260m
 河道掘削工、築堤工、護岸工

(3) 令和元年度の事業内容

湊川
樋管工 N = 5基
河道開削工 L = 1,200m

全景写真



浸水状況（昭和61年）



工事状況



事業概要

(1) 地域の安全・安心な生活を支える基盤づくり

②自然災害へ備えるため、計画的な河川改修や砂防施設を整備します。

●藤川【河川】（会津若松市 会津美里町）

(1) 事業の目的

堤防の嵩上げや拡幅等の河川改修により洪水からの浸水被害防止を図ります。

(2) 事業概要

事業着手 平成21年度
事業完了 2020年代初頭
計画内容 築堤工・護岸工 L=2,200m

(3) 令和元年度の事業内容
用地測量、地質調査、設計
河道掘削

位置図



藤川全景



事業概要

(1) 地域の安全・安心な生活を支える基盤づくり

②自然災害へ備えるため、計画的な河川改修や砂防施設を整備します。

●土砂災害防止法（※正式名称「土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律」）

土砂災害防止法とは、土砂災害から国民の生命を守るため、土砂災害のおそれのある区域について危険の周知、警戒避難態勢の整備、住宅等の新規立地の抑制、既存住宅の移転促進等のソフト対策を推進しようとするものです。

土砂災害警戒区域

生命・身体に危害が生ずるおそれがある区域
(通称:イエローゾーン)

●警戒避難体制の整備(市町村長の義務)

- ・土砂災害情報を記載したハザードマップの配付
- ・土砂災害のおそれを判断する雨量に関する情報
- ・避難の指示とその伝達方法

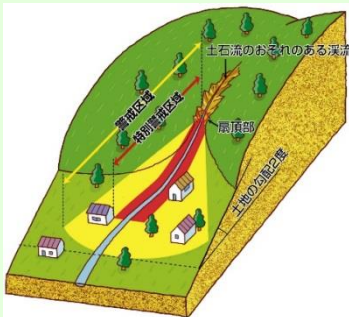
土砂災害特別警戒区域

(建築物に損壊が生じ、住民に著しい危害が生じるおそれがある区域) (通称:レッドゾーン)

- 特定開発行為の制限
- 建築物の構造規制
- 移転勧告

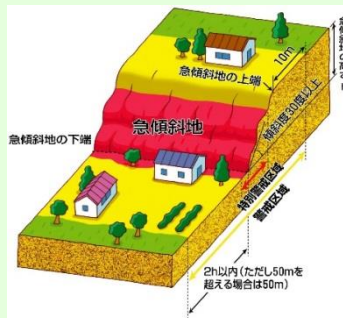
土石流

山腹が崩壊して生じた土石等
又は溪流の土石等が水と一体
となって流下する自然現象



急傾斜地の崩壊

傾斜度が30度以上である
土地が崩壊する自然現象



地すべり

土地の一部が地下水等に
起因して滑る自然現象又
はこれに伴って移動する
自然現象



○会津若松建設事務所管内の状況（平成31年3月末見込み）

対象箇所数	基礎調査済	住民説明会済	区域指定済
511	511 (100%)	511 (100%)	496 (97%)

◆土砂災害警戒情報に関する情報は、当事務所又は、ホームページでご覧になれます。

- ・会津若松管内の基礎調査結果：当事務所ホームページ
<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/41340a/kisochousakkekk-aizuwakamatsu.html>
 ・土砂災害警戒区域等指定箇所：福島県砂防課ホームページ
<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/41045c/>

出典：国土交通省 水管理・国土保全局 土砂災害防止法の概要
<http://www.mlit.go.jp/river/sabo/sinpoupdf/gaiyou.pdf>

事業概要

(1) 地域の安全・安心な生活を支える基盤づくり

②自然災害へ備えるため、計画的な河川改修や砂防施設を整備します。

●西田面沢 砂防 (会津若松市湊町)

(1) 事業の目的

豪雨出水時に発生する土石流から災害時要配慮者利用施設（特別養護老人ホーム、保育園）、避難所及び人家等を保全するため、砂防えん堤を整備しています。

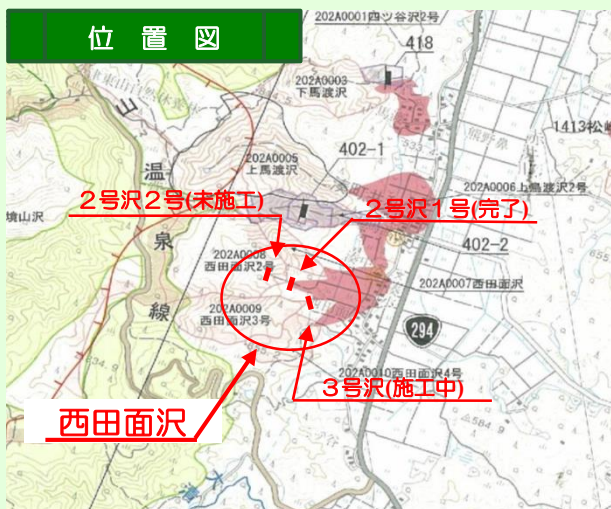
(2) 事業概要

事業着手 平成23年度
事業完了 2020年代後半
計画内容 砂防えん堤工 3基

(3) 令和元年度の事業内容

砂防えん堤工 1基(3号沢)
L=56.0m H=9.0m

位置図



完了状況 (2号沢1号)



溪流状況



全景写真



溪流に土砂が堆積

次期降雨で流出のおそれ

事業概要

(1) 地域の安全・安心な生活を支える基盤づくり

②自然災害へ備えるため、計画的な河川改修や砂防施設を整備します。

●院内沢 砂防 (会津若松市東山町地内)

(1) 事業の目的

豪雨出水時に発生する土石流から人家及び道路を保全するため、砂防えん堤を整備しています。

(2) 事業概要

事業着手 平成28年度
事業完了 2020年代後半
計画内容 砂防えん堤工 2基

(3) 令和元年度の事業内容

地質調査、詳細設計
用地測量、用地補償

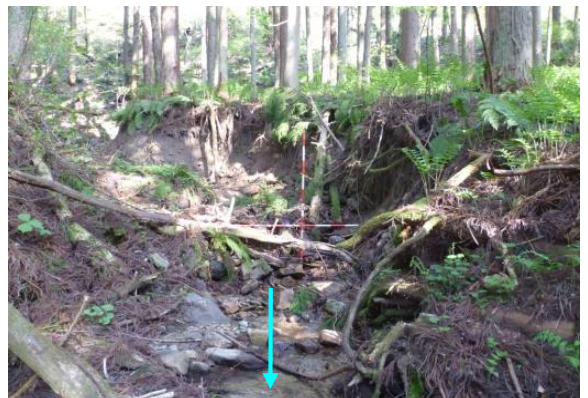
位置図



全景写真



溪流状況



事業概要

（１）地域の安全・安心な生活を支える基盤づくり

②自然災害へ備えるため、計画的な河川改修や砂防施設を整備します。

●慶山沢 砂防 (会津若松市東山町地内)

(1) 事業の目的

豪雨出水時に発生する土石流から災害時要配慮者利用施設（ケアホーム、グループホーム、小学校）、避難場所及び人家等を保全するため、砂防えん堤を整備しています。

(2) 事業概要

事業着手 平成24年度
事業完了 2020年代後半
計画内容 砂防えん堤工 2基

(3) 令和元年度の事業内容

用地測量
用地補償

位置図



全景写真



溪流狀況



事業概要

(1) 地域の安全・安心な生活を支える基盤づくり

②自然災害へ備えるため、計画的な河川改修や砂防施設を整備します。

●香塩地区【急傾斜】（会津若松市大戸町大字上三寄香塩地内）

(1) 事業の目的

本箇所は、土砂災害特別警戒区域内に災害時要配慮者利用施設があり、また市の地域防災計画、避難所となっていることから、異常気象や地震によりがけ崩れが発生した際、避難困難となるため急傾斜地崩壊防止施設を整備します。

(2) 事業概要

事業着手 平成30年度
事業完了 2020年代初頭
計画内容 崩壊防止施設工 L=113.5m

(3) 令和元年度の事業内容

詳細設計、用地測量
崩壊防止施設工着手

位置図



全景写真



市立大戸中学校



斜面状況



事業概要

(1) 地域の安全・安心な生活を支える基盤づくり

②自然災害へ備えるため、計画的な河川改修や砂防施設を整備します。

●坊が沢 砂防えん堤【砂防】（河沼郡会津坂下町大字気多宮）

(1) 事業の目的

豪雨出水時に発生する土石流から人家及び道路を保全するため、砂防えん堤を整備しています。

(2) 事業概要

事業着手 平成27年度
事業完了 2020年代初頭
計画内容 砂防えん堤工 1基
渓流保全工 L=80.0m

(3) 令和元年度の事業内容

砂防えん堤本体工着手

位置図



土砂流出状況



渓流状況



事業概要

(1) 地域の安全・安心な生活を支える基盤づくり

②自然災害へ備えるため、計画的な河川改修や砂防施設を整備します。

●木置沢 砂防 (大沼郡昭和村大字小野川)

(1) 事業の目的

豪雨出水時に発生する土石流から人家及び道路を保全するため、砂防えん堤を整備しています。

(2) 事業概要

事業着手 平成17年度

事業完了 令和元年度

計画内容 砂防えん堤工 H=11.5m L=93.0m

(3) 令和元年度の事業内容

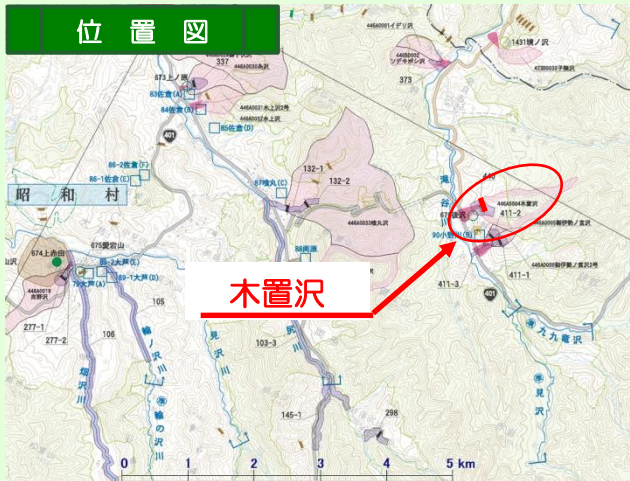
砂防えん堤工

L=42.0m H=8.7m

下流取付工

L=63.7m

位置図

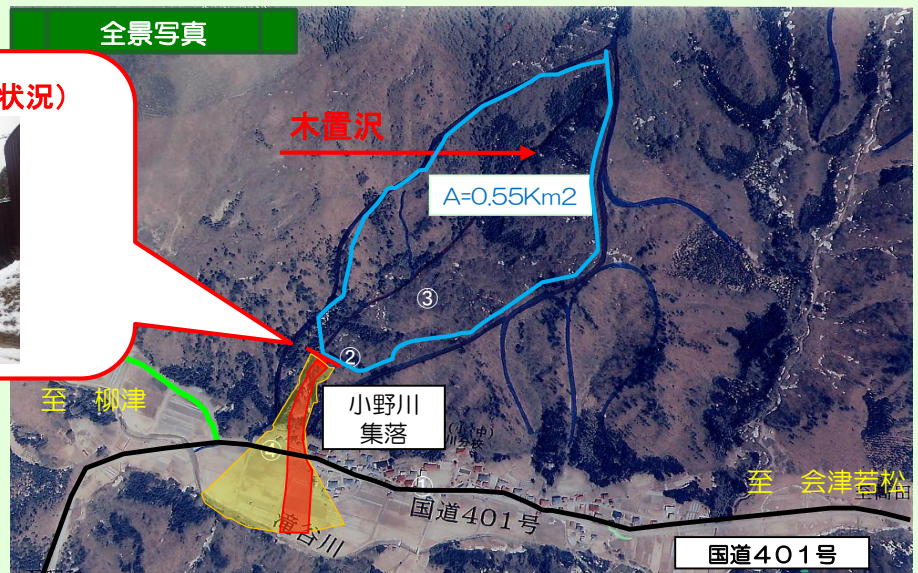


溪岸浸食状況



全景写真

木置沢 砂防えん堤 (工事状況)



事業概要

(1) 地域の安全・安心な生活を支える基盤づくり

②自然災害へ備えるため、計画的な河川改修や砂防施設を整備します。

●御伊勢ノ宮沢溪流保全工【砂防】 (大沼郡昭和村大字小野川)

(1) 事業の目的

豪雨出水時に発生する土石流から人家及び道路を保全するため、溪流保全工を整備しています。

(2) 事業概要

事業着手 平成20年度

事業完了 2020年代初頭

計画内容 溪流保全工 L=356.0m

(3) 令和元年度の事業内容

溪流保全工 L=66.4m

位置図



土砂流出状況



全景写真



御伊勢ノ宮沢 溪流保全工

完了箇所の状況



事業概要

(1) 地域の安全・安心な生活を支える基盤づくり

②自然災害へ備えるため、計画的な河川改修や砂防施設を整備します。

●川向地区【急傾斜】（大沼郡昭和村大字松山）

(1) 事業の目的

異常気象時や地震時にかけ崩れが発生する危険性が高いことから、擁壁の施工により人命を守るとともに、避難路が寸断され孤立することを防ぎます。

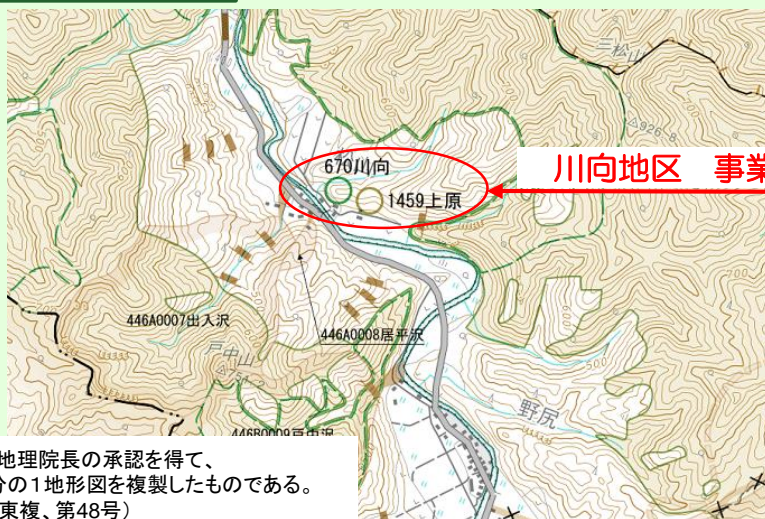
(2) 事業概要

事業着手 平成22年度
事業完了 2020年代初頭
計画内容 擁壁工 L=250m

(3) 令和元年度の事業内容

擁壁工 L=120m

位置図



※この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分の1地形図を複製したものである。
(承認番号 平27東複、第48号)

工事前の状況



工事後の状況



事業概要

(1) 地域の安全・安心な生活を支える基盤づくり

②自然災害へ備えるため、計画的な河川改修や砂防施設を整備します。

●天沼沢外 えん堤改築工【砂防】（大沼郡会津美里町大字松坂）

(1) 事業の目的

砂防えん堤の基礎が洗掘を受けていることから、安全な河川の流水を確保できる構造にするため、砂防えん堤を改築しています。

(2) 事業概要

事業着手 平成28年度
事業完了 2020年代初頭
計画内容 砂防えん堤改築工 2基

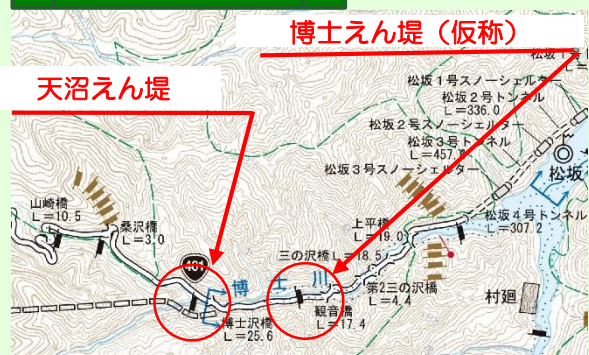
(3) 令和元年度の事業内容

天沼えん堤 砂防えん堤改築工 1式
博士えん堤（仮称）砂防えん堤改築工 1式

堆砂状況（満砂）



位置図

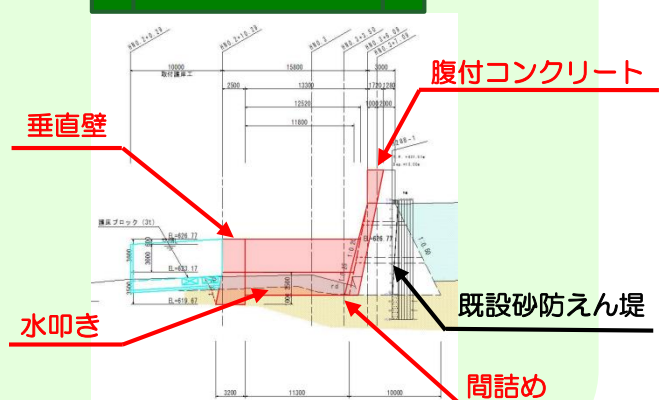


※この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分の1地形図を複製したものである。（承認番号 平27東複、第48号）

基礎洗掘状況



側面図



事業概要

(1) 地域の安全・安心な生活を支える基盤づくり

③公共土木施設等を適正に維持管理し、生活の安全・安心を守ります。

●冬期交通の確保・除雪体制の充実

○事業の目的

国・県道58路線54.3kmの除雪作業を実施し、冬期間の安全な交通を確保しています。

市街地の除雪・排雪状況



車道除雪状況



歩道除雪状況



●道路パトロール・道路維持補修による維持管理

道路パトロール



○道路維持補修

道路の異常等を日常的に確認し、交通に支障を及ぼさないよう対応しています。

【舗装の穴埋め作業】



【路肩の除草】



事業概要

(1) 地域の安全・安心な生活を支える基盤づくり

③公共土木施設等を適正に維持管理し、生活の安全・安心を守ります。

●中山間地域道路等維持補修業務委託

背景

中山間地域の
高齢化

建設企業の
弱体化

地域力の低下

奥会津の地域の安全安心を守る
～維持管理や防災活動を存続で
きる体制の確保～

モデル事業の試行
平成21年度から
一括発注・通年契約
(H25からは複数年)

平成29年度から
本格実施

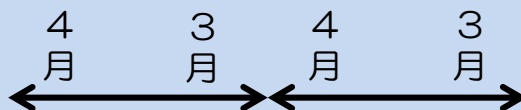
○事業の目的

宮下土木事務所管内は、地形的にほとんどが中山間地に位置し、山村振興、過疎、特別豪雪の特殊立法指定地域に指定されています。加えて、高齢化や過疎化の進行や建設業を取り巻く環境の中で、中山間地特有の課題を克服し、引き続き道路や河川等を良好な状態に保ち、防災活動を持続できる体制を確保し、地域住民の安全安心を確保を図ります。

契約方法

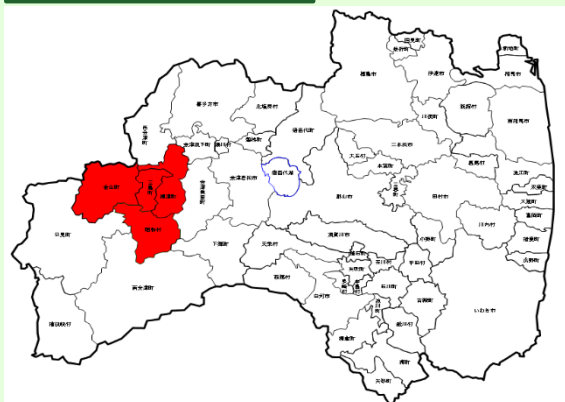
◆新たな方式
(複数年契約) + (一括発注)
+ (共同受注)

[契約期間]
(複数年契約)



[委託業務の統合化]
道路維持補修業務委託
+ 舗装修繕業務委託
+ 除雪業務委託
+ 河川維持管理委託 H31から
+ 構造物等の管理点検 新たに追加
+ 地すべり防止施設の
点検清掃 外

位置図



災害時の緊急対応

H23.7 新潟・福島豪雨
国道252号の道路崩壊に対する対応

道路崩壊により通行止め



12日後に片側交互通行



維持管理状況

道路除雪



橋梁雪庇落とし



構造物等簡易点検

H29 橋面の排水点検



点検結果を踏まえ清掃を道路維持補修業務委託で実施。漏水による桁や沓の腐食を予防。

事業概要

(1) 地域の安全・安心な生活を支える基盤づくり

③公共土木施設等を適正に維持管理し、生活の安全・安心を守ります。

●舗装補修

○事業の目的

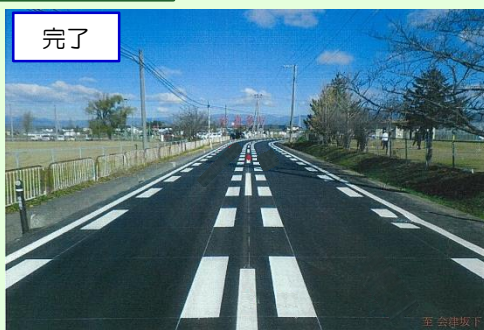
舗装のひび割れや轍（わだち）掘れで車が通行する時に騒音・振動が発生しているので、補修（再舗装）を行い、周辺の生活環境改善と円滑な交通を確保します。

熊の目浜崎線
(湯川村大字三川地内)

施工前



完了



国道118号
(会津若松市大戸町大字芦牧地内)

施工前



完了



国道252号
持寄工区(柳津町)

施工前



完了



事業概要

(1) 地域の安全・安心な生活を支える基盤づくり

③公共土木施設等を適正に維持管理し、生活の安全・安心を守ります。

●橋梁補修

○事業の目的

老朽化により補修の必要な橋について、舗装工事や塗装工事などにより、リニューアルを図ります。

【橋梁補修の流れ】

※(主)喜多方会津坂下線 八千代橋 (会津坂下町)



①橋梁点検を定期的に実施



②補修箇所の確認



③補修施工を行い完了

(主)会津若松三島線 蟹川橋



国道252号 越川橋



事業概要

(1) 地域の安全・安心な生活を支える基盤づくり

③公共土木施設等を適正に維持管理し、生活の安全・安心を守ります。

●消雪施設更新

○事業の目的

冬期間に稼働する消雪施設について、老朽化等により修繕が必要な箇所を更新します。

会津坂下会津高田線 本町工区（会津坂下町）

施工前



施工後



国道252号 川口工区（金山町）

施工前



施工後



事業概要

(1) 地域の安全・安心な生活を支える基盤づくり

③公共土木施設等を適正に維持管理し、生活の安全・安心を守ります。

●県営住宅改善工事（対馬館団地）【内部改善】

(1) 事業の目的

「福島県県営住宅改善事業の基本方針」に基づき、県営住宅の長寿化リフォームを行い、安全・安心で快適な住まいづくりを進めます。

(2) 事業概要

事業着手 平成24年度
事業完了 令和5年度
計画内容 バリアフリー化、給湯設備設置
便器、洗面台の新設等

○事業の効果

住居内の段差が解消されると共に老朽化していた給排水管などが更新され、台所・洗面・浴室のお湯がリモコンスイッチで使えるようになります。

位置図

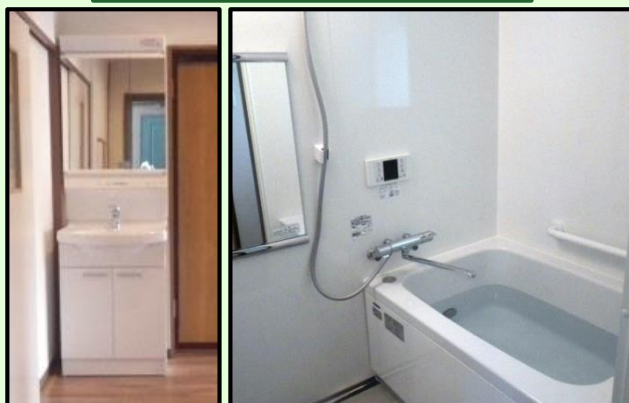


整備前



昭和50年代建設のため、住居内の老朽化設備水準の低下が進んでいます。

整備後（イメージ）



ユニットバスの設置、便器・洗面台新設、手摺設置等の改修工事を実施しています。

事業概要

(2) 地域の産業振興を支援し、様々な交流を促進するみちづくり

(2) 地域の産業振興を支援し、様々な交流を促進するみちづくり

○交流促進のため、横断軸や会津軸の強化を図ります。

●国道118号（会津若松市神指町中四合）【若松西バイパス】

(1) 事業の目的

国道118号（若松西バイパス）は、広域的には、県土の骨格となる6本の連携軸の会津軸を形成し、近隣県と連携することで東日本大震災からの復興を強力に支援するとともに、会津若松市においては、中心市街地部の交通混雑の緩和、「会津若松IC」への連絡強化や、緊急輸送道路第一次確保路線としての機能を担うことで、都市内交通の安全かつ円滑化に寄与することを目的としています。

(2) 事業概要

事業着手：昭和63年度

事業完了：令和元年度

計画内容：改良工 L=6,800m W=13.0(25.0)m

(3) 令和元年度の事業内容

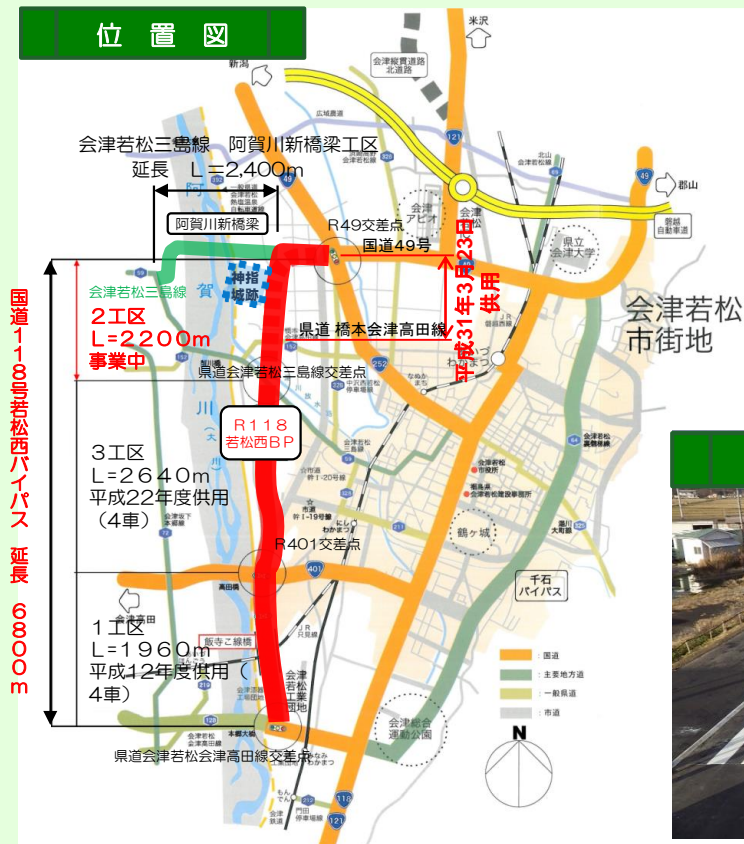
防雪柵設置工 L=800m

○現場のポイント

平成28年12月26日、県道 会津若松三島線から県道 橋本会津高田線間が部分供用。そして、平成31年3月23日、残る国道49号までの区間約1.7 kmが開通し、バイパスの全区間が供用しました。

今後は冬期の安全な通行を確保するため、防雪柵工の設置工事を行います。工事は、地域の土地利用や通学路としての利用状況等に配慮し、安全・安心・確実に行います。

位置図



全景写真



現在の状況



事業概要

(2) 地域の産業振興を支援し、様々な交流を促進するみちづくり

○交通ネットワークの構築を図ります。

●会津若松三島線（会津若松市北会津町蟹川）【阿賀川新橋梁】

(1) 事業の目的

現道の蟹川橋は道幅が狭く、渋滞がひどいため、通行の支障となっています。本橋梁により国道49号と接続することで会津若松市の中心部と旧北会津村を連絡する道路となります。

(3) 令和元年度の事業内容

用地補償
N = 1式

(2) 事業概要

事業着手 平成20年度
計画内容 改良工
L=2,400m
W=6.5(11.0)m

位置図



全景写真



現在の状況



事業概要

(2) 地域の産業振興を支援し、様々な交流を促進するみちづくり

○交通ネットワークの構築を図ります。

●会津縦貫北道路 若松北バイパス（会津若松市）

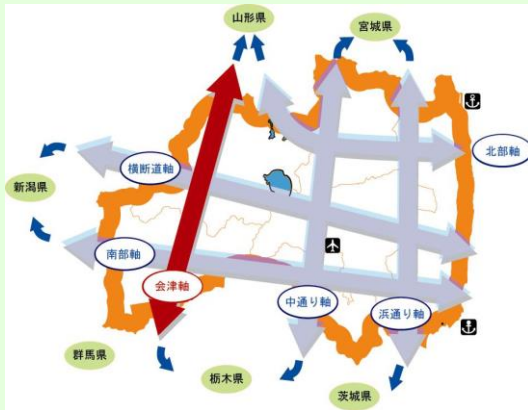
(1) 事業の目的

会津縦貫北道路は、「福島県総合計画（ふくしま新生プラン）」及び「福島県復興計画（第2次）」の「県土連携軸・交流ネットワーク基盤強化プロジェクト」に位置づけられ、県土の骨格となる6本の連携軸の一つである会津軸の役割を担う地域高規格道路として、磐越自動車道及び会津縦貫南道路と一体となり、高速交通ネットワークを形成します。

若松北バイパス（4-2工区）は、会津縦貫北道路と国道118号若松西バイパスを結ぶ区間であり、主要渋滞箇所が2箇所存在するため、本工区を整備することで会津縦貫北道路と会津若松市街及び南会津地方とのアクセス性を向上し、市街地の渋滞緩和や大規模災害時における広域的な避難や緊急物資等の輸送を可能にする災害に強い交通体系の確保を図ります。

(2) 事業概要

事業着手 平成28年度
計画内容 改良工
L=3,200m
W=14.0(20.5)m



(3) 令和元年度の事業内容

都市計画変更
用地測量 N=1式
構造物詳細設計 N=1式

○現場のポイント

工事着手に向けて、測量調査及び設計を推進します。

整備概要



平成28年4月1日事業化
若松北バイパス
延長3.2km

会津縦貫北道路

●整備状況

- 【1工区】
 - ・平成23年11月 喜多方IC～塩川IC間開通
- 【2工区】
 - ・平成21年10月 塩川IC～湯川北IC間開通
- 【3工区】
 - ・平成25年9月 湯川北IC～湯川南IC間開通
- 【4工区】
 - ・平成27年9月 湯川南IC～会津若松北IC間開通
- 【若松北バイパス（4-2工区）】
 - ・平成28年2月 都市計画決定
 - ・平成28年4月 事業化

凡例

供用済 事業中（現道）
事業化 現道

事業概要

(2) 地域の産業振興を支援し、様々な交流を促進するみちづくり

○交通ネットワークの構築を図ります。

●会津縦貫南道路（会津若松市）【2工区】

(1) 事業の目的

会津縦貫南道路は、会津若松市から南会津町に至る延長約50kmの地域高規格道路であり、県土の骨格となる6本の連携軸の一つである会津軸の役割を担う道路として高速交通ネットワークを形成する路線です。

2工区は、会津若松市内の延長約10kmの区間であり、会津縦貫南道路の整備により以下の効果が期待されます。

- ・災害に強い道路ネットワーク
- ・地域相互の交流等の促進
- ・地域生活の安定
- ・地域の活性化

○令和元年度の事業概要

調査事業

○現場のポイント

早期事業化に向けて、調査を進めていきます。

位置図



現在の状況



写真①：
観光シーズン中の国道渋滞状況

写真②：
降雪による国道渋滞状況

事業概要

(2) 地域の産業振興を支援し、様々な交流を促進するみちづくり

○交通ネットワークの構築を図ります。

●都市計画道路藤室鍛冶屋敷線（会津若松市新横町）【新横町工区】

(1) 事業の目的

本路線は、中心市街地を東西に結ぶ重要な幹線道路であり、都市内の交通体系の確立と交通混雑の緩和を図ります。

(2) 事業概要

事業着手 平成27年度
計画内容 改良工
L=118.3m
W=6.0(16.0)m

(3) 令和元年度の事業内容

埋蔵文化財調査 N=1式

○現場のポイント

工事着手に向けて、埋蔵文化財の調査を実施します。

位置図



現在の状況



事業概要

(2) 地域の産業振興を支援し、様々な交流を促進するみちづくり

○サイクリングロードの整備を図ります。

●会津若松熱塩温泉自転車道線

(1) 事業の目的

会津盆地の景観拠点を結ぶ自転車道の整備により、広域観光の支援を図るとともに、県民の心身の健全な発達や健康の増進に寄与することを目的とします。

(2) 事業概要

事業着手 平成8年度
計画内容 自転車道整備
L=48.4km
(若松管内 L=26.9km)
W=2.0(3.0)m

(3) 令和元年度の事業内容

自転車道整備 L=0.6km
用地補償
サイン整備

位置図



整備状況

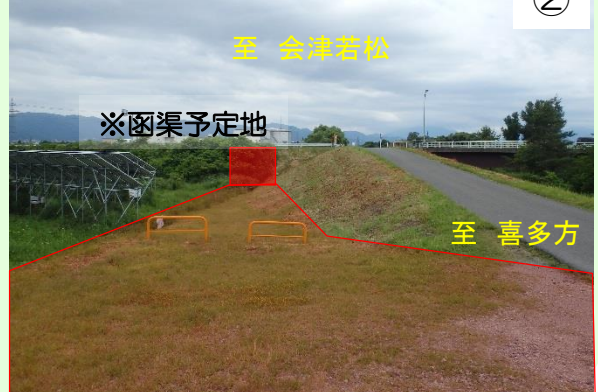
①



整備予定地

※イメージ図

②



事業概要

(3) 豊かな自然や美しい風景、歴史・文化など地域の特性を活かしたおもてなしのまち（地域）づくり

(3) 地域の特性を活かしたおもてなしのまち（地域）づくり

○会津らしいまち（地域）づくりを進めます。

●国道252号（会津若松市七日町）【七日町工区】

(1) 事業の目的

国道252号会津若松市七日町地内は、会津若松市中心市街地に位置する幹線道路です。沿道には市景観協定地区として歴史的景観指定構造物が立ち並び、歴史的景観の保全に努めています。電線類地中化及び歩車道部の無散水消雪を行うことで、安全で快適な歩行空間の確保、歴史的景観及び都市防災の向上、賑わいの創出を図ります。

(2) 事業概要

事業着手 平成24年度
計画内容 電線共同溝 無散水消雪
L=900m
W=5.5m(6.0)m

(3) 令和元年度の事業内容

電線共同溝 L=125.5m

位置図



整備前（七日町駅付近）



整備後（七日町駅付近）



事業概要

(3) 豊かな自然や美しい風景、歴史・文化など地域の特性を活かしたおもてなしのまち（地域）づくり

○会津らしいまち（地域）づくりを進めます。

●越後街道（束松峠）・銀山街道（銀山峠、美女峠、吉尾峠）
【歩く県道としての整備】

(1) 事業の目的

これまで未整備のため交通不能区間となっていた旧街道を「歩く県道」として歴史を体感できるような整備を行い、人的交流の拡大により地域の活性化を図ります。

(2) 事業概要

事業着手 平成23年度

実施場所 越後街道（束松峠）

銀山街道（銀山峠、美女峠、吉尾峠）

道普請実施例（吉尾峠）

施工前



道普請
(みちぶしん)



完了



(3) 令和元年度の事業内容

銀山街道を活用して地域を元気にする会や、地元のボランティアの皆様と一緒に、「手作業を主とした、持続可能な施工方法による街道修繕（道普請）」を実証実験として行います。

地域の皆様との意見交換会



「美女峠ウォーキング大会」の様子



美女峠は銀山街道の一部で、銀や塩の運搬路として利用されてきました。街道を歩行者が安全・安心に通行できるよう、今回の道普請のような対策が必要となります。

事業概要

(3) 豊かな自然や美しい風景、歴史・文化など地域の特性を活かしたおもてなしのまち（地域）づくり

○会津らしいまち（地域）づくりを進めます。

●会津高田会津本郷線（会津美里町宮林）【宮林工区】

(1) 事業の目的

会津高田会津本郷線 会津美里町宮林地内は、会津仏教文化の発祥地で旧会津高田町のシンボルである「伊佐須美神社」沿いの県道であり、町道2008号線と接続する都市計画道路に位置づけされた箇所です。毎年、神社で開催されるあやめ祭・お田植え祭等のイベントで約120万人の参詣者、観光客が神社に訪れていますが、歩道が未整備であり、歩行者が車道を歩行し危険な状況にあります。また、冬期間はスリップ事故等多発している状況にあります。県道の無散水消雪を行うことで、安全で快適な歩行空間の確保、歴史的景観及び都市防災の向上、賑わいの創出を図ります。

(2) 事業概要

事業着手 平成24年度
事業完了 2020年代前半
計画内容 無散水消雪、交通安全施設工
L=200m
W=8.0(12.0)m

(3) 令和元年度の事業内容

無散水消雪施設 L=200m

位置図



整備前（伊佐須美神社付近）



整備前（伊佐須美神社付近）排雪作業



事業概要

(3) 豊かな自然や美しい風景、歴史・文化など地域の特性を活かしたおもてなしのまち（地域）づくり

○地域の観光を促進するための環境整備を進めます。

●前ノ沢【ヒメマス産卵環境整備】

(1) 事業の目的

沼沢湖に生息するヒメマスの産卵に適した環境を地元漁業協同組合、金山町、地域住民と協力して整備します。同時に、遡上・産卵の様子を観察することのできる親水スポットとしての整備も進めることで観光への活用を図り、地域活性化に寄与します。

(2) 事業概要

事業着手 平成30年度
事業箇所 前ノ沢、沼沢湖
計画内容 魚道設置 N=4基
遊歩道整備 L=300m
河川内遊歩道整備 L=150m

これまでの取り組み



学習型魚道の 整備

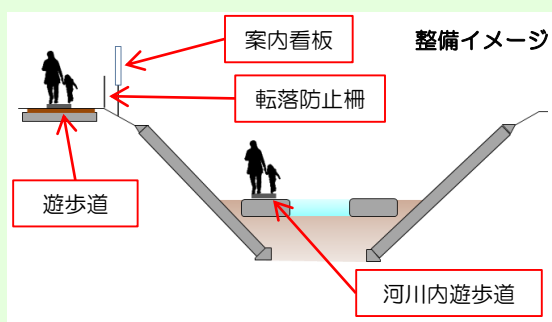


位置図



(3) 令和元年度の事業内容

下流側の遊歩道整備にも着手し、より安全にヒメマスを観察出来る環境を整備します。また、上流側の落差工箇所への魚道整備も実施していきます。



事業概要

(3) 豊かな自然や美しい風景、歴史・文化など地域の特性を活かしたおもてなしのまち（地域）づくり

○地域の観光を促進するための環境整備を進めます。

●【ビューポイント整備】

(1) 事業の目的

只見川とJR只見線沿いの美しい自然景観が眺望できるビュースポットの整備や視界の妨げになる雑木除去等を関係機関と連携して行うことで、より魅力ある自然景観を創出し、奥会津地域の活性化を図ります。

(2) 事業概要

事業着手	令和元年度
事業箇所	柳津町、三島町、金山町
計画内容	伐木、ビュースポット整備、遊歩道整備等 ソフト対策（協議会運営、美化活動等）



第1橋梁

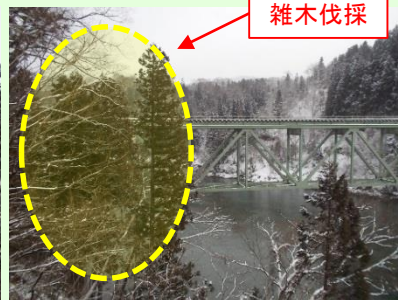
(3) 令和元年度の事業内容

滝谷川橋梁（柳津町）、第二橋梁（三島町）において、視界を遮る雑木の伐採やビュースポットを整備します。

大志地区（金山町）において、遊歩道（既存施設一体）を整備し、更なる魅力の向上を図ります。



ビュースポット整備



雑木伐採

第2橋梁

事業概要

(4) 会津地方の「復興」と「地方創生」

(4) 会津地方の「復興」と「地方創生」

●国道252号（大沼郡金山町大字本名）【本名バイパス】

(1) 事業の目的

当該区間の現道は、本名発電所堤体上のクラック部等の線形不良箇所や、本名スノーシェッド内の幅員狭小区間のため、著しく交通の支障となっていることに加え、道路構造物の老朽化や平成23年新潟福島豪雨による浸水被害等、道路交通上の大きな障害となっています。このため、バイパス化を図ることで、安全かつ円滑な交通を確保することを目的としています。

(2) 事業概要

事業着手：平成22年度、事業完了：2020年代初頭
計画内容：改良工 L=2,680m W=6.0(8.0)m

(3) 令和元年度の事業内容

(仮称)本名トンネル工事 L=1,429m
(仮称)本名橋上部工工事 L= 219m
(仮称)霧来沢橋上部工工事 L= 161m
道路改良 L=820m

○現場のポイント

自然豊かな周辺環境をはじめ、只見川の河川条件や日常生活交通等に配慮した工事を行います。

位置図

全体計画 L=2,680m W=6.0(8.0)m



現在の状況

写真①



(仮称)本名橋

写真②



道路改良

写真③



(仮称)霧来沢橋

写真④



(仮称)本名トンネル

写真⑤



事業概要

(4) 会津地方の「復興」と「地方創生」

●国道252号（大沼郡金山町大字水沼）【水沼工区】

(1) 事業の目的

当該区間の現道は、小さく屈曲したカーブ等、脆弱な道路構造と相まって、降雪に伴い年間を通じて安全かつ円滑な交通の確保が難しい状況にあります。また、平成23年7月の新潟福島豪雨に伴い迂回路のない国道252号が冠水した結果、陸の孤島となり安心安全な日常生活が脅かされました。このため、当該地域の基幹的役割を果たすべく幹線道路の整備を目的としています。

(2) 事業概要

事業着手 平成26年度
事業完了 2020年代初頭
計画内容 改良工
L = 2,310m
W = 6.5(8.5)m

(3) 令和元年度の事業内容

道路改良 L=1,870m

○現場のポイント

小さく屈曲した区間や、平成23年7月の新潟福島豪雨で冠水した区間を対象に工事に着手することで、現道の抱える隘路の解消を計画的に推進します。

また、只見川と並行する現道の改良工事となることから、施工時における交通の確保に配慮した工事を行います。

位置図



整備状況



現在の状況



冬期間の状況

豪雨による冠水後



事業概要

(4) 会津地方の「復興」と「地方創生」

●国道400号（大沼郡昭和村大字大芦）【舟鼻工区】

(1) 事業の目的

対象箇所は急カーブ、急勾配が続き、幅員も狭く、すれ違いが困難となっています。そのため、拡幅工事により現道隘路を解消し、地域間の連携・交流、救急医療の支援、日常生活の利便性の向上を図ります。

(2) 事業概要

事業着手 平成22年度
事業完了 2020年代初頭
計画内容 改良工
L=2,239m
W=5.5(7.0)m

(3) 令和元年度の事業内容

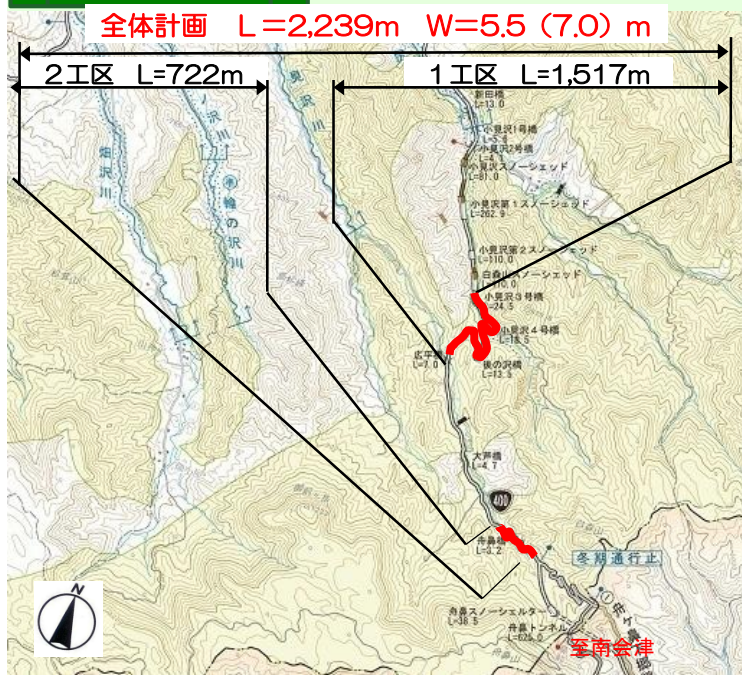
道路改良 L=628m

○現場のポイント

現場は幅員が狭いことから、限られた範囲内で施工可能な工法を選定し、常時交通を確保して工事を行います。

また段階的に工事を行うことで、部分的に完成させて早期効果発現を目指します。

位置図



現在の状況



施工中の状況



事業概要

(4) 会津地方の「復興」と「地方創生」

●国道401号（大沼郡昭和村大字大芦）【大芦工区】

(1) 事業の目的

対象箇所は、現道の幅員が狭く、急カーブおよび急勾配区間もあることから、バイパス整備により現道隘路区間を回避して、安全かつ円滑な交通を確保します。また、集落を通過する交通を排除することで地域内の安全性向上を図ります。

(2) 事業概要

事業着手 平成26年度
事業完了 2020年代初頭
計画内容 改良工
L=1,138m
W=6.0(8.0)m

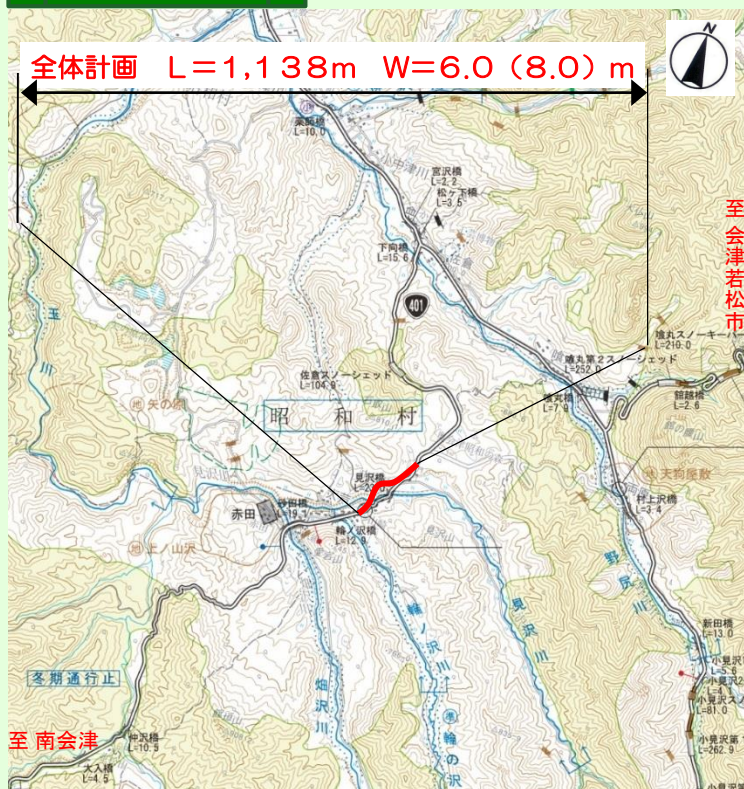
(3) 令和元年度の事業内容

道路改良 L=360m

○現場のポイント

自然豊かな地域において、人家に近接して工事を実施するため、騒音、振動および第三者に対する安全対策に配慮した工事を行います。

位置図



現在の状況



事業概要

(4) 会津地方の「復興」と「地方創生」

●国道401号（昭和村・会津美里町）【博士峠工区】

(1) 事業の目的

博士峠部の道路改良を実施することにより、安全で円滑な交通を確保するとともに、冬期通行止を解消し、昭和村と会津若松市の連絡機能強化及び救急医療機関へのアクセス向上を図ることを目的としています。

(2) 事業概要

事業着手 平成26年度
事業完了 2020年代中頃
計画内容 改良工
L=7.5 km
W=6.0(8.0)m

(3) 令和元年度の事業内容

道路改良 L=3,000m
トンネル工 L=4,503m
橋梁工 N=6橋

○事業の効果

- ①冬期間通行止の解消及び救急医療機関搬送時間の短縮
- ②災害時避難ルートの確立
- ③地域振興の発展

○現場のポイント

道路改良は、現道敷を極力使用し、自然改変、環境負荷が小さい工法を採用。

トンネル工は、事業の早期完成を目指し、両側からトンネルを掘削する工法を採用。

位置図



現在の状況



施工状況



事業概要

会津から元気を発信します

5. 会津から元気を発信します。

●ホームページ・Facebook・奥会津シンフォニーロード

【会津若松建設事務所ホームページ】

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/41340a/>



掲載中の情報

- ・通行規制情報
(冬期通行止め等)
- ・道路パトロール情報
- ・入札情報
- ・工事情報
- ・報道発表資料
(起工式等)
- ・東山ダムの情報
- ・会津レクリエーション公園
の情報

ほか

【会津若松建設事務所 Facebook】

<https://www.facebook.com/AizuwakamatsuKensetsu/>



掲載中の情報

- ・通行規制情報
(冬期通行止め等)
- ・工事情報
- ・報道発表資料
(安全祈願祭等)
- ・所内職員の活動
(若建祭倶楽部やってみっ会等)

ほか

【奥会津シンフォニーロード】

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/41340a/sinfonyroad.html>



時速50km/hで走行すると、
「カントリーロード」
が流れます♪

県内初の施工事例です！

※詳細情報は、ホームページを
ご覧ください。

6. 建設業の魅力向上に向けた取り組み

●Change!どぼく実行委員会

○建設業の魅力向上を目指し、様々な活動を行います。

【H30年度の主な取り組み内容】

- ①小学生への道路除雪に関する出前講座の実施
- ②高校生への課外授業（建設業魅力向上PR）の実施（土木）
- ③フォトコンテストの開催～カレンダー作成
- ④各種イベントでの「カフェdeどぼく」の出店
- ⑤その他（インターンシップetc…）

最優秀賞「期待の女性新入社員」



U18 最優秀賞「協力」



優秀賞「未来の道路」



U18 優秀賞「虹と未来の道」



U18 優秀賞「技術の進歩」



優秀賞「さあ！やるぞー！」



6. 建設業の評価向上に向けた取り組み

● 会津美Lady

○建設業の評価向上を目指し、様々な活動を行います。

○会津美Ladyについて

女性技術者の会「会津美Lady」は、平成26年9月8日に建設業全般について、**女性の視点**で検証・分析し、**改善点を提案**していく目的で設立されました。

構成メンバーは、福島県建設業協会若松支部・宮下支部に所属する企業で勤務する女性技術者と福島県会津若松建設事務所の女性技術職員です。



会津美Lady
キャラクター



びれたん

○会津美Lady公式のフェイスブックページを開設しました。

<https://www.facebook.com/aidubilady/>



○H30年度の主な取り組み内容

- ①建設業についての課外授業を磐梯中学校で開催しました。
- ②ふくしま“けんせつ・どぼく女子”座談会を会津工業高校で開催しました。



事務所のご案内

1. 組織体制

会津若松建設事務所

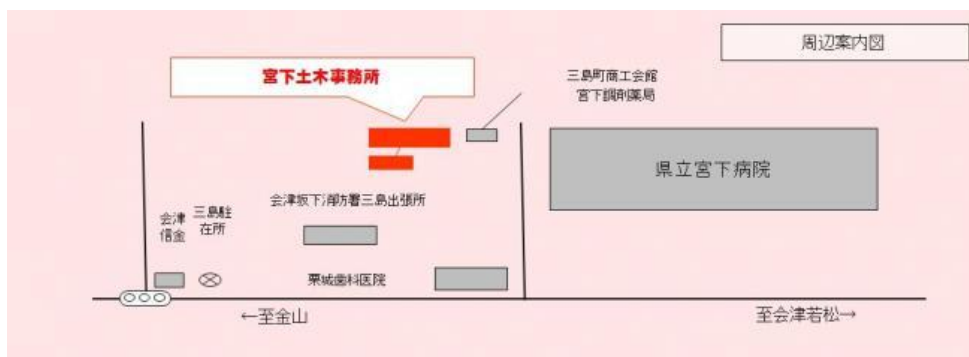
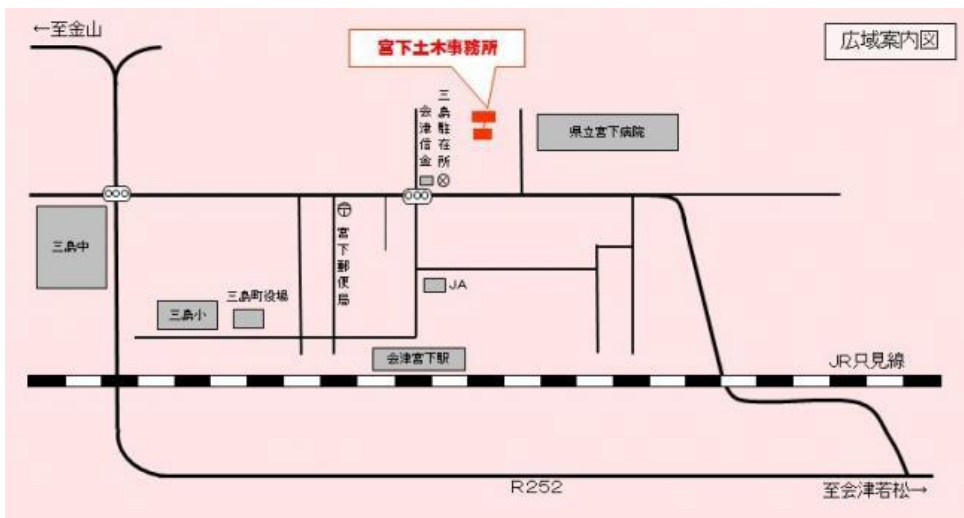


事務所のご案内

2. 仕事の内容

部・課名		業務の内容	電話番号
総務部	総務課	<ul style="list-style-type: none"> ・事務所の庶務に関すること。 ・事務所の経理に関すること。 	0242-29-5410
	行政課	<ul style="list-style-type: none"> ・道路法等に係る許認可等に関すること。 ・県営住宅の管理に関すること。 ・県管理道路及び河川の境界確認に関すること。 	0242-29-5427
	用地課	<ul style="list-style-type: none"> ・土木事業に係る用地の取得、補償及び登記に関すること。 	0242-29-5420
企画管理部	企画調査課	<ul style="list-style-type: none"> ・各種中長期計画の策定、各種情報の収集・調査及び分析に関すること。 ・施策の企画立案、事業調整、進行管理、事業評価等に関すること。 ・市町村事業の技術的支援及びまち（地域）づくりの懇談会やワークショップ等のともに考える仕組み作りに関すること。 ・地域づくり推進のための総合調整に関すること。 	0242-29-5438（企画調査） 0242-29-5455（地域づくり推進）
	管理課	<ul style="list-style-type: none"> ・本庁管理担当課、地域保全課、土木事務所等と連携した維持管理計画の策定、事業調整、管理情報のデータ収集・分析、危機管理体制及び公共土木施設の災害復旧事業の総括等に関すること。 ・土木施設の維持管理に関すること。 ・地域密着型事業の実施に関すること。 ・公共土木施設災害復旧事業に関すること。 ・除雪の全体計画及び実施に関すること。 ・危機管理体制に関すること。 ・会津レクリエーション公園の管理に関すること。 ・東山ダム の管理に関すること。 ・会津縦貫北道路の管理に関すること。 	0242-29-5444（管理調整） 0242-29-5451（地域保全）
事業部	道路課	<ul style="list-style-type: none"> ・道路の事業計画の策定に関すること。 ・道路事業の調査、計画及び実施等に関すること。 ・都市計画、特殊構造物及び各種施設事業の全体計画の策定に関すること。 ・都市計画事業、特殊構造物事業、各種施設事業の調査、計画及び実施に関すること。 ・公共土木施設災害復旧事業の実施に関すること。 	0242-29-5431（道路計画） 0242-29-5440（道路整備）
	河川砂防課	<ul style="list-style-type: none"> ・河川等の整備方針及び整備計画の策定に関すること。 ・河川及び砂防事業等の調査、計画及び実施等に関すること。 ・公共土木施設災害復旧事業の実施に関すること。 ・市町村代行下水道事業の計画及び実施等に関すること。 	0242-29-5436
建築住宅部	建築住宅課	<ul style="list-style-type: none"> ・建築基準法の施行に関すること。 ・建築物の耐震改修に関すること。 ・県の施設に係る営繕工事に關すること。 ・県営住宅の維持管理に関すること。 	0242-29-5461（指導審査） 0242-29-5463（営繕）

宮下土木事務所	総務課	<ul style="list-style-type: none"> ・事務所の庶務に関すること。 ・事務所の経理に関すること。 	0241-52-2312
	業務課	<ul style="list-style-type: none"> ・土木施設の維持管理に関すること。 ・地域密着型事業の実施に関すること。 ・公共土木施設災害復旧に関すること。 ・除雪の全体計画及び実施に関すること。 ・危機管理体制に関すること。 	0241-52-2311



宮下土木事務所

〒969-7501

大沼郡三島町大字宮下字水尻1108

TEL: 0241-52-2311

FAX: 0241-52-2532

E-mail: miyashita.doboku@pref.fukushima.lg.jp



令和元年度 福島県会津若松建設事務所概要
平成31年4月1日 初版
令和元年 5月1日 第2版

企画編集 福島県会津若松建設事務所 企画調査課
〒965-8501
福島県会津若松市追手町7-5（新館3階）
電話（0242）29-5438（企画調査課直通）



「福島県会津若松建設事務所概要に使用している地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分1地形図を複製したものである。（承認番号 平27東複、第48号）」